京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 參ヶ月前金貳圓 六ヶ月前金四圓 壹ヶ年前金八圓
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

七月二十九日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇米回答延期か

米政府の出兵內容漏洩警戒

米政府は日米共同出兵に就き其內容の獨逸側に漏れん事を虞れ嚴重警戒し居るもの〻如く今回の我提議に就きても大統領と國務長官との間に豫め協議し兩者間に於て決裁せられ居る模樣にて其回答も最も迅速に決定さる可く或は廿九日頃には回答到著せずやと觀測さる（東京特電）

◇支那出兵と回答

支那が浦鹽出兵に關し過般聯合國に意見を徵したるに對し英、米、佛何れも贊成の旨回答ありたるが日本も亦贊成の旨を通告せり（北京特電）

◇出兵は主に直隷軍

支那の西伯利出兵數は約二千名なるが右は主として直隷軍たる可く其指揮官は未定なるも黑龍江督軍鮑貴卿氏其任に當る可しと傳へらる（北京特電）

◇ホチ兩軍妥協成る

ホルワット將軍とチェック軍との間に交涉中なりし共同軍事行動は種々行惱み中なりしが最近に至り聯合國領事團の斡旋に依りて漸く妥協成立し解決を告ぐるに至れり其內容は不明なるも先づ兩軍合同し且つ東淸鐵道の如きも其の利用に就き妥協的條件とすべしと（哈爾賓電報）

◇軍事同志會決議

米國新聞記者來所著港＝英國統一聯合院內閣組たる軍國同志會は七月廿四日左の決議を爲せり（東京特電）

本會は露國に於ける秩序恢復を欲する黨派に有効なる援助を與ふる最善の手段は浦鹽より西伯利鐵道に沿ひて行はる可き軍事行動に是を求めざる可らずと思考す依て日本及び他聯合諸國の兵力を以て右の干涉を實現するの必要を政府に力說するものなり

◇講和提案不誠實

華盛頓特報に曰く獨逸よりの講和提案は何人も耳を傾くるものなし右は言ふ迄もなく其の提出條件不誠實なればなり（紐育電報）

◇獨逸人心銷沈

獨逸は西部戰線に於て大敗の結果人心銷沈し政府亦前途を痛ましつ〻あり（巴里電報）

◇佛軍攻擊開始

佛軍はウルク、マルタ間にて再び攻擊を開始せり（巴里電報）

◇佛國將官懲戒案

佛國將官級の者にして大失策を爲したる場合は其官を褫奪し且つ二年乃至五年の禁錮に處すとの最も嚴重なる懲戒案提出されたり（倫敦電報）

◇米國議會再開か

米國議會は再開を期し陸軍側は徵兵年齡變更及び陸軍擴張に關する變更案を提議す可しと（倫敦電報）

◇英皇室の服喪

英國皇帝は露國前帝薨御に就き四週間の宮中喪を仰出さる（倫敦電報）

◇支那借款と米國

米國政府は支那政府が現在の借款全部を取消し今後總ての借款は日英米佛の銀行家をして參加せしむれば米銀行家の支那借款參與に同意するに決せり尤も詳細は未だ決せざるも一箇國の出資割當額は五千萬弗として承認す可しと觀測せらる（北京特電）

◇總督近く歸任

長谷川總督は用務も大體終了せし故近く歸任の途に就くべし（東京特電）

◇上原總長辭職說

後任は川村元帥か

上原參謀總長の辭職說は今や公然の秘密にして辭意牢乎として動かすべからず寺內首相、大島陸相、大迫大將等は留任勸告に努めたるも其の甲斐なく遂に後任の物色を必要とし陸相は山縣公、寺內首相等と協議の結果元帥川村景明子を起す事に內定し數日來懇談を重ねつ〻ありと傳へらる（東京特電）

◇米價調節

根本策

特に一課を設く

農商務省は米價調節の根本策樹立の爲め今回特に一新課を設くる事となりたるが既に耕地擴張の爲め地址調査を開始し更に開墾助成に關する法律案を來議會に提出し所有地の開墾に對し助成金を交付する筈なりと（東京特電）

◇新規賣買禁止

米價昂騰の勢ひ尚歇まざるを以て東京米穀取引所にては來月一日より當限の新規賣買を禁止せり（東京特電）

◎外米補給潤澤

米價暴騰と共に外米の需要著るしきに當り其供給不足せりと傳へらる〻に對し外米管理部當局は語じて曰く今回暴騰に際し最近迄は折惡しく入船の都合上多少供給に不足を見たるは遺憾なりしも其後續々入荷あり既に廿四日の如き深川諸問屋商店木德商店等より數千石の販賣を見つ〻ある次第にて最早供給回復し此上不足を告ぐるが如き事は絕對になかるべし要するに政府が現今

▲指定商をして 輸入せしめつ〻ある數量は既に屢々發表せる如く大體今後一箇月約五十萬石平均を來る十月迄に連續輸入せしめ而して其半數二十五萬石は横濱に入荷し東京を中心とし各地に販賣せしむるものなるが現下深川在米減少に際し今回特に東京分として横濱入荷の度毎に其三分の一宛を殘存せしむること〻なしたり右によれば即ち一箇月約八萬石の外米は東京分として用意せらる〻次第にして從來市內外米の賣行きは一日七百石平均一箇月二萬一千石の消費なれば此殘存米は充分之が供給にあまりあるのみならず此殘存をなせる主旨は內地米價暴騰に當り外米の需要一人當り二割（一升につき二合）乃至三割の

▲外米消費を希望 し其場合の需要に應ぜんとするものにして現在東京市民の一日正米消費は平均約八千石なるが外米が其三割即ち二千四百石とすれば一箇月七萬二千石分として即ち上記石數の殘存を爲したる次第なり尤も市民の需要が尚更に增加する場合此額以上に多々益々之が供給增加を爲すことは辭せざることは無論にして尚且つ之のみならず鮮米六萬石亦來月中に到著濟の筈なることは既に發表せる如き次第にして要するに茲二箇月中に市民の爲めに準備せらる〻

▲外米鮮米の數量 合計二十二萬石（一箇月外米八萬石鮮米三萬石）即ち一箇月十一萬石に達する次第なれば暴價が市民をして外米消費に向はしめば例令深川在米現在三十萬石が廿萬石となるも此等外米鮮米は蓋し實質上東京市に於ける在米が三十餘萬石以下に減少するを補充するに足ると云ふべし加之聞く處によれば正米の廻送も逐日增大を示しつ〻ありとの事にて況んや過去に於て斯る難境もありたる如き經驗もある際今に於て所謂食糧問題として市民の飢餓を云ふ如きは未だ夢想に過ぎず（管理部當局談＝東京）

◎政務總監設宴

山縣政務總監は二十九日午後七時より朝鮮ホテルに於て晩餐會を開き近く出發歸國の上國務省極東課長に就任す可き米國總領事ミラー氏を主賓とし同寺に京城駐在外國領事團を招待せるが總督府よりは宇佐美長官、久水外事課長其の他列席せり

◎叙勳

二十六日附左の通り敍勳の御沙汰ありたり

朝鮮總督府內務部長官 宇佐美勝夫
正四位勳三等農學博士 本田幸介
敍勳二等授瑞寶章（各通）

◎莨稅改正要點

煙草の如く八月一日より朝鮮に於ても改正され製造たばこ消費稅は定價の二割五分と爲り販賣者の手許に於て持越せる製造煙草に對しては定價の二割五分より既納消費稅（定價の一割）を控除せる稅金を附すること〻なれるが其他追加稅令改正の要點は卸賣販賣稅金は年額賣上見込五千圓未滿を第一種とし年稅額十圓、五千圓以上を第二種とし年稅額二十圓を納附すべく現に免許を受けたる卸賣者は七月三十日迄に卸賣の種別を定め京城府に免許證書換の申請を爲すを要すと而して將來店舖を移轉せむとすることは所轄府郡に申請許可を受くるを要する事となり所轄府郡島の承認を受けたる場合の外製造煙草の包裝を開披し若くは之を改裝販賣することを得ず之を犯したる者は罰金又は科料に處せらるべしと

◎米國極東發展腐心

米國は其參戰の目的を公明神聖なる人道主義に基づくものとなし戰中は勿論戰爭の解決も亦此主義を以てせざるべからずと做し聯合與國に對する有らゆる援助に於ても此趣旨を以て進みつ〻あり既に與國に貸付けたる借款金額は五十億弗に垂んとし尚ほ益々增加を示し居れり斯くして米國は世界の

▲最大債權國 となりつ〻ある上聯合與國及中立國に對する貿易は非常なる發展を示せるのみならず各國の戰後發展地として刮目せる南米、極東、南阿及び濠洲の開拓に對しても著るしき努力を爲し然も之を戰後に迄持續し得るの確信を有すとせり而して米國の活動は頗る組織的にして且つ大規模なるが彼の極東殊に支那に對する活動の如きも宗敎、敎育に關する施設、商業會議所の活躍を初めとし運河借款其他當面の利益を離れ官私步調を一にして投資するあり又最近に於ては四國財團へ復活を試むるが如き孰れも遠大の策より割出されざるはなし又米國は從來支那國援助並に開拓に對し欽差する所ありしもルート氏の派遣、鐵道の改善援助等一時擲抛し鐵道材料の如きは浦鹽、哈爾賓間の東淸鐵道沿線に出張せられある現狀なれど尚其素志の貫徹を企圖せる上

▲近く實業團 を派遣し其結果に基づき別途の投資を爲さんとしたり是等米國の極東發展計畫に對しては過般渡米せし我財政委員一行の深く驚嘆せる處にして我國は極東に特殊の地位を有しながら今日の有樣にては到底之が發展の目的を達すること困難なりとの意見を齎すに至らしめたり而して米國現在の西伯利に對する計畫は チェック援助を以てする東部西伯利鐵道の政治的手段並に鐵道の改善以外彼の樹名たる森林及び鑛山に著目せるや勿論の事なるが西伯利の鑛物としては金礦最も豐富にして烏拉嶺以東の全產額は全露產額の四分の三に達すとさへ唱へられ到る處金礦あり又石炭は鐵道沿線及び北樺太、沿海州に產出し就中沿黑龍州のスチヤ炭及び樺太炭は良質の稱あり其他銀、亞鉛、銅、鐵、鉛、水銀及び寶石類をも包含しものあるも從來採掘上に制限を行へる上外人の採掘權に對し禁止令を布けるさへありて不振を示し居れり斯く西伯利の鑛物は豐富なれるが今次米國の大規模なる活躍は必ずや其の目的の遂行に近づく可く是蓋し近來の見物なると共に我朝野の傍觀を許さゞる所なり

◎笞刑執行と調査

笞刑制度擴大說は全然無根
深澤監獄課長談

朝鮮笞刑の現狀と監獄拘禁狀態及び行刑費との關係に就ては毎年其成績を考查しつ〻あるが本年七月の調査に依れば裁判事件に於ける笞刑の處斷率は刑法大全實施當時に在りては

▲全受刑者中 僅に二十パーセントに過ぎざりしが笞刑令制定以來逐年其率を增加し大正五年は四十六パーセント同六年は未だ統計完成せざるを以て的確の數字を示す能はざるも五十パーセントを越ゆべき見込なり斯くの如く笞刑處斷者の增加したる結果監獄の拘禁狀態に對し消極的に多大の緩和を與へ著るしく行刑費の膨脹を防ぎつ〻あり即ち裁判事件に就て之を見るに笞刑執行總人員は大正二年の六千二百十八人より同三年の七千百七十八人同四年の八千九百九十七人同五年は一躍一萬三千三百二十人に上り同六年は實に二萬四百九十六人に激增し之が

▲執行總笞數 即ち拘禁すべかりし總日數に當るもの大正二年は四十二萬八千五百五十九なるに同六年は百四十五萬五千二百十六に達し笞刑執行の爲め監獄に拘禁したる實日數（一人一日に行ふ笞刑數は三十以內なるにより若し一人に九十を行ふ場合は三日を要する譯にて三日間監獄に拘禁すればなり）を自由刑を言渡さず笞刑處斷の結果より控除した日數は大正六年は百四十二萬四千四百七十二日となり此の不要拘禁に依り節約し得べき行刑費額は四十四萬四千四百三十五圓二十六錢となり之に犯罪即決事件に依る監獄費及び警務費四十六萬九千百四十四圓二十錢の節約額を

▲加算すれば 昨年のみにて九十一萬三千五百七十九圓四十六錢を節約し得たる次第なり而して大正六年に於ける裁判及び即決事件の笞刑處斷者を合して行刑費の節約其他の狀況を今少しく詳細に示せば監獄費に於て八十八萬二千百三十五圓三十八錢警務費に於て留置人費及び食費三萬一千四百四十四圓五錢の行刑費を節約し監獄に於て一日平均七千七百四十五人の人員を緩和し監房一坪に付き一日三人五分を收容する事となる今若し笞刑處斷を廢すと假定したる場合には監房一坪に就き一日平均九人を收容せざる可からざるに見れば非常なる

▲緩和を爲し 得る事を認むべし之が爲め監獄增設費を節約し得る事は多大なるものなり今笞刑を全廢して之を全部監獄に收容するとせば定員五百名の監獄（釜山咸興と同型）を增設せば十五箇所半を要す之を一箇所當り二十五萬圓の經費を要するものとして總計三百八十七萬五千圓を要すべき勘定なり之を國家經濟上より見て莫大なる額にして一方刑期の經驗に見るも刑期の比較的短かなるものは自由刑とするよりも笞刑とする方遙に効力を有するものなる事を認めつ〻あり兎に角笞刑處斷の增加が監獄管理上重大なる好影響を與へ居れる事は窺ふに難からず

▲尚此機會に 於て聲明し置き度きは地方各紙上に於て當局が笞刑制度を擴大せんとの意志あるが如くに記載しあれど這は全然誤傳にて未だ制度の擴大を企畫せし事なし

◎東洋畜產進捗

開業は九月乎

東洋拓殖會社後援の下に成立計畫中なる東洋畜產會社は過般來其の準備完備せしを以て會社令により總督府に設立許可の申請中なるが當局の調査も略終了せし模樣なれば茲兩三日中に許可の指令に接すべし尚ほ該會社の株式は東拓の四分の一引受けを主とし內鮮有力者の引受けにて既に滿株となりしに付公募をなすに至らざるべくその開業は目下の所十月一日の豫定なれど八月末頃第一回の拂込を徵し多分九月一日若くは十五日頃より開業し得べしと尚東拓延立技師永登浦田の兩氏は目下本會社の用向にて內地旅行中なり

▲東拓と東畜 川上理事談

東畜會社設立の進捗は前項の如くが該社に付川上東拓理事は曰く東洋畜產會社は大いに發展の必要ある畜產界の將來に順應せんため鮮內有力者の諸氏と共に發起したのである該會社が設立されれば東拓は現に所有し農民に貸附けてゐる牛約一萬五千頭を直ちに引繼ぎ以て

▲現物出資 をなす事となつてゐるがコレは東拓の手に斯くの多數の畜牛を所有してゐても外の事業が多忙であるため現在以上に數を增し擴張して行く事は困難である等の關係上會社の所有牛を根幹とし東畜の計畫が生れたのである又その引繼ぎ價格は原價である爲め時價に比し割安となつてゐるが東拓は東畜に所有牛を引繼いだため兩三年間は畜牛收入なるものは若干減少する事となるが然し數年後は東畜の營業狀態一進むと共に會社も纏つた確定的の配當收益を見る譯で必ずしも不利益とは言へないのである又東畜の目的は第一期事業として畜牛の

▲貸付預託 牛皮牛骨牛生牛肉の賣買並に輸移出畜產に關する附帶事業をやるのであるが牛皮牛骨牛生牛肉の賣買輸移出等は從來多少面白からぬ習慣も一部にはあるらしくも聞くしかし樣な弊風は出來る事なら段々革新して行きたいとも思つてゐる、序に東拓は東畜の成立により昨秋以來三會社を娘會社とした乃ち內地に本社を置き海外に活動する海外興業滿洲の東畜實業と今回の東畜である斯く一會社が新會社の株式多數を引受けて密接な母子的連絡をとり以て事業の經營を續けて行くと云ふやり方は他に類例のない事だが資力の乏しい本土外に仕事を進めて行くには獨逸流の此の行き方が適當であると思ふ東畜會社には地方の疑惑とか並に人事等に就ても能ふ限り便宜を圖る積りである

◎教員講習會終了

附屬普通學校內に於て開會中なりし公立普通學校教員講習會は愈々廿九日終了せるを以て同日午前十一時半終了式を舉行したるが當日は關屋局長、弓削學務課長、上田視學官等列席關屋局長の挨拶に對し講習生總代の朝鮮語の答辭あり夫れより修業證書を授與し十二時式を終りたり

◎單級講習會終了

京城中學校附屬小學校に於て開催中なりし單級教授講習會は廿九日を以て終了したるに就き同日午前十一時終了式を舉行し夫々修業證書を授與せり

◎各將軍送別繰上

京城官民聯合主催に係る松川軍事參議官、立花、古海兩師團長、高橋司令官、岡本旅團長、竹內聯隊長の送別會は五日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催の筈なりしも都合により三日午後七時より開催のことに變更せり

◎二將軍發著期

松川軍事參議官は八月五日午前八時五十分龍山發列車にて出發すべし▲第四師團長立花中將は八月八日夜任地に向け出發途上東萊に於て前第四師團長宇都宮新任軍司令官と會見し九日釜山發赴任すべし▲宇都宮軍司令官は八月六日午前下關にて松川大將と會見後佐賀に二泊の上赴任すべき豫定にて龍山著は多分十日頃となるべし

◎埼玉教育視察團

目下入京中なる埼玉縣學事視察團一行は三十日午前十一時二十分發列車にて仁川に赴き同地築港を見學し即日歸京の筈なり

人事消息

▲小寺謙吉氏（代議士）二十九日入京大和館へ
▲藤沼武男氏（總務總監秘書）往復一週間の豫定にて卅日廣島へ出張
▲添田增男氏（東京醫學士）所用にて入京中
▲坂本憲兵中尉（龍山分隊長）二十八日夜入京朝鮮旅館へ
▲北京駐在和蘭公使 二十八日夜北京より內地へ通過
▲隈谷大倉組重役 二十八日夜平壤へ
▲京城駐在英國領事 二十八日午後木浦より歸京
▲木村林次郎氏（三菱重役）二十八日夜入京大倉樓へ
▲上林啓太郎氏（咸興炭礦重役）二十八日午後內地へ
▲寺尾規矩郎氏（新義州稅關支署長）二十七日附横濱京城神戶小京の各地へ出張を命ぜらる
▲天野通氏（釜山高等女學校教諭）二十七日附奈良廣島兩縣へ出張を命ぜらる

茶前酒後

歐洲大戰は何時迄續くか終局の時期を豫想する事は到底出來ない▲が若し假りに本年で終結を告ぐるものと假想しても獨逸の人口は男一人に女十九人と云ふ割合になるだらうとのこと▲伊太利の某社會學教授の所論に據ると戰後には各交戰國共男子が少くなり女子が多くなる▲であるから男子は數多い女子の中から最も健康な者を選拔して結婚する事が出來るので人種改良の結果を來すのであらうと云つて居る▲結婚と云へば米國には戰時保險局があつて出征兵士を加入せしめてある戰死の場合には保險金を其の遺族に交付する▲利輸に敏いヤンキーガールの中には此保險金を當て込んで重婚をやる者が多い即ち一妻多夫主義の大流行▲局長のメリーウェザー、スミス君は重婚婦人の檢舉を始めた▲處が中には四人の兵士を同時に亭主に持つた者もあり二人三人の一妻多夫は多く實に▲一人の亭主を正直に後生大切に守つて居る者は餘程馬鹿正直者とされてゐるこはイヤハヤ開いた口が閉がらぬ話だ▲檢舉を嚴重にすると全米國を通じてヤンキー、ガール界に一大恐慌を惹起する事だらう▲ソート、レーキ地方にはモルモン宗の本山があつて▲今にも一夫多妻主義の布教に從事して居る▲然るに昨世は逆に一妻多夫が流行▲深奧なる教義も金力には叶はぬと見える祖師のジョセフ、スミス先生も定めて地下で末世澆季を感嘆して居るのだらう

女子の本分

▲料理の出來ぬは女の損
▲禮法を知らぬは女の耻

女子の本分は婦道を守り家事に專らなるにあり。茶の湯、生花等の心得も必要ならんが、更に肝要なるは料理を研究して、日々の食事を安價に美味に滋養あらしむると共に、禮儀作法を修得して、婦道に缺くる隱無き樣に努むるにあり。

■板垣伯爵夫人 は夙に東京割烹講習會を設立し、毎月「家庭料理講義錄」を發行し、坐ながらにして此兩道に達し得る便宜を計りつ〻あれば今其內容の大略を紹介せん。

◆日本料理科 ▲儀式料理▲本膳料理▲會席料理▲惣菜料理▲日々の献立▲即席料理▲晩酌料理等日本料理の一切を網羅す。

◆西洋料理科 ▲正餐及略餐の献立▲歐米各國料理▲日本人向の洋食▲一品料理等、西洋料理一切を講義す。

◆支那料理 は世界料理中最も進步せるものと稱せらる、本項には此料理を詳細に講義す。

◆和洋菓子科 實用向の和洋菓子一切を懇切に說明す。

◆禮儀作法科 日本禮式法、日本食禮法、西洋食事法なども說く。

■實益と趣味 其他年中行事▲演物▲飾物▲老人、小兒、病人の食物▲通俗化學▲名士の講話等に到る迄毎號掲載しあれば、眞に實益と趣味とを具備せる婦人必讀の講義錄と云ふべし。

■入會の手續 同會は目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機なり。入會手續は簡單で、ハガキに「講義錄送れ」と書いて申込めば、直に會員として、毎月講義錄を配付す。

■會費と割引 會費は一ヶ月金四十錢。前金申込は三ヶ月分金壹圓十五錢。六ヶ月金貳圓貳十錢。一ヶ年金四圓貳十錢に割引す。

■送金の便法 送金を面倒と思ふ方に對しては集金郵便の便法あり。此便法は、入會を申込めば直に一冊送本し、同時に二ヶ月分の會費（手數料共金八十五錢）を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は翌月送本し、爾後は二ヶ月目毎に二ヶ月分宛の會費を集金に行く故、送金上何の手數も無し。二ヶ月分宛集金するは集金手數料を節約せんが爲めなり。

又前金拂込を望む方にて此集金郵便法に依らんと欲すれば、この便法にて取扱ふ可し。但し此場合には集金手數料金五錢を要す。

■大特典有り 此際の入會者には、入會金を免除し「料理必携」を進呈する外、會費六ヶ月分前納者には「家庭寶典」を呈し、會費一ヶ年分前納者には「パン製造法」及「記念メタル」を進呈す。

■見本無代進呈 見本入用の方へは無代進呈す。

東京本鄉御茶の水 株式會社 東京割烹講習會 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四二番

最新パン製造法 定價六十錢 送料八錢

パンが衞生的優良食品たるは何人も是認せる所なり。本書は多年海外に在りて專らパン製造を研究せる斯界の大家田邊五平氏が特に本社の爲に執筆せられたるものにて、田尻博士及諸大家の推稱を受けし名著也。文章平易說明懇切。營業用に適し、一般家庭用として好評

實用パン製造法 定價廿五錢 送料貳錢

◎此際の注文者に限り實驗用としてパン種十五斤分進呈

過去三十有餘年間パン製造に從事せられたる吉田忠氏の名著にして營業者は固より有ゆる家庭の人々にも種々のパンが解り易く且つ直ちに實地に應用の出來るやう親切叮嚀に詳述しあれば一般衞生經濟をつ〻んする人々殊に胃腸病患者等には有益缺く可らざる良書なり

◎此際の註文者に限り實驗用としてパン種十五斤分進呈

乾燥パン種 七個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます）定價參拾錢 送料貳錢
乾燥パン種 六個入一袋（一個で約十五斤のパンが出來ます）定價廿五錢 送料貳錢

發行所 顧問大隈侯爵 會長板垣伯夫人 東京本鄉御茶の水 株式會社 東京割烹講習會 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四二番

大正七年七月一日改正現行 [illegible]

○浦鹽在留者は皆 日本の出兵を待焦れて居る

チェック軍蹶起の當時甚だ怪しかった某國の態度 ——浦鹽より歸りし新聞記者熊谷忠直氏の談——

京城御成町新聞記者熊谷忠直氏は六月末實業調査のため浦鹽に出張し二十八日歸京したるが其談に依れば

私が浦鹽に上陸したのはチェック軍が過激派軍の虚に乘じて浦鹽を占領した二日許り後でした人の話によるとチ軍は列車内に事務所を設けて居つたが過激派が獨逸に引渡す目的を以て

◆武裝解除を要求した爲め大いに憤つて一擧に浦鹽を占領したのであるが、當時過激派軍は二百內外、チ軍は一萬五千と言ふ兵力を有つて居たから勝敗は戰はざるに決せられて居たが日英兩國ではチ軍蹶起を聞くや機關銃や其他の兵器を貸附し一方停車場前の過激派本部を攻擊する際の如きは英國領事館屋上に機關銃を据つけ領事館內外には日本の

◆陸戰隊を潛ませてチェック軍が敗北を取たなら只一擊の下に攻擊する計畫だつた相です其時某國は聯合國側から陸戰隊を上陸させる交涉を受けたが只領事館保護の爲にとあつて二十名上陸させた許りであつたが市街戰の結果チ軍が勢力を得るや急に後援者たらんとした、可笑いのは過激派の戰死者の葬儀があつた際葬儀がだんだん餘の群集は口に自由の歌を高唱しわざわざ遠廻りして某國領事館前に集合しウラーウラーと叫んだので

◆示威運動になり二萬で臭い臭いと思つて居た聯合國側では某國が始めは過激派に加擔しチ軍の旗色を見て手の平を返したと言つて居た、目下の處では市中は頗る平穩で日英米支四國の陸戰隊が共同動作の下に大抵六人位づつ隊伍を組み、日本の將校や下士が指揮して市中を警戒して居るが然し時々は過激派の殘類が

◆電信局を襲うて局長を殺したり隊伍を組んだ强盜が爆彈を持つて人家を襲うたりする事もあるので警戒は嚴重を極めて居る、日本人は奥地が危いのでどしどし浦鹽へ逃げ戾つて來るので本來五千と稱せられたものが昨今では一萬以上になつた、それに日本出兵の噂を聞いて內地や朝鮮から視察に出掛る者が多く每航路共滿員々々で旅館は宿る事さへ出來ない程である、一般に日本の出兵は七月二十五日になるだらうと噂されて居た、在留民は日本の出兵を待焦れてゐる

○下關火藥爆發詳報

爆發原因未だ詳ならず 慘狀言語に絕する市中の實況

▼爆發原因に就て 兵器支廠員談

火藥取扱に關し小倉兵器支廠を訪れしに高橋支廠長は下關驛の爆發の報に接し直に下村運輸主任を從へ現場に出張して在らず係員は火藥の取扱に關し語つて曰く

今回の爆發火藥は某方面に輸送せらるべきものなれば當支廠には何等の關係なく從つてその數量や種類は判明せざるも元來火藥は大別して二種とす即ち

◆尋常火藥と黄色火藥是なり黄色火藥は發火用に供するものにして如何なる取扱ひをなすとも火氣を加へざる取扱ひにては發火せず小銃にてこの火藥を射拔ばとて發火する事なく發火せしむるには必ず火氣を加へざるべからず尋常火藥はこれに反して取扱ひは愼重を要し受授の際は手より手に渡す事となり居れるも實際二三尺の高さより落ちたりとて爆發せざるものなり最も昨今の天候は火藥に對しては

◆頗る危險なる時期なるが如何なる理由より爆發するに至りたるやは支廠長歸來の上ならでは判明せず尋常火藥は百基六十圓黄色火藥は百キロ十五圓の代價なれど下關驛の爆發火藥は今輸送せらるべき者の內約三分一位と聞たるのみにて數量及び損害は知るに由なきも新聞號外の報ずる如く二十五輛積みとせば約〇〇〇貫となり得べきも

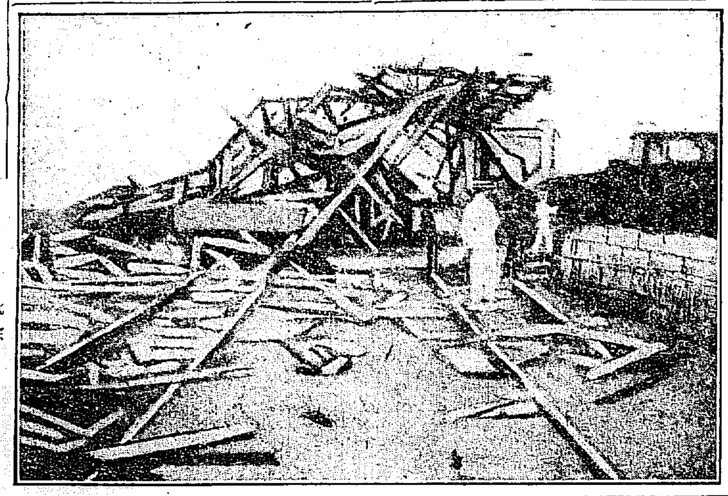
◆他に混載物あり旁し其全部が爆發せしに非ざれば知るに由なし由來火藥は二時間以上は驛の構內に存置する能はざる規定となり居り若し二時間以上を經過するに於ては安全なる場所に移すべきものなるが果してその手續を履行せしや否や又當支廠に輸送せらるべきものは貨車航送によりて直ちに大里に廻送せらるゝ事となり居れば斯る取扱ひ上の錯誤なかるべしと(小倉特電)

▲慘事の跡 肉飛び骨散て目も當られず

下關驛構內の玲車事務所の前には二三寸許頭髮の附着せる面形肉片落ち手首切れ足飛び居るありたり而して現場より遙か隔たりたる竹崎町貸座敷竹西樓の屋根には

◆黑髮附きの頭骨と脊柱の一部が飛び居り其の附近なる豊野方二階戸袋には鐵のボートが矢形に刺さり茶山町成藤古物商には七尺にも餘る鐵棒が天井を貫き居れり赤數丁の山の手なる鐵道院工場通勤の高谷良太郎妻キク(二十)方は山手の住所なるが夜間便所に行く途中右手首が足下に落ち居れるに驚きて

◆膽を潰したり 甚だしきに至りては竹崎町一丁目荒木鶴乙輔方二階に一條の十數尺もある一の矢の如く飛び來り隣家なる仕立屋高谷方奥の壁を貫き荒木方の道場の上より斜にセメント漆喰二方の寢室に尺許りも突込み居れるあり赤間町貸座敷富貴樓の二階には十貫もある大石を蹴上げ柱を折られて大騷ぎ人々生きたる心地はせざりしと云へり(門司)



◇トッ葉微塵になつた驛構內の倉庫

▲乘客負傷氏名

爆發當時の列車に在りて負傷せる乘客の氏名は左の如し(門司)

▲重傷 佐藤法潤、水口榮治、藏持辰之助、筒井市松、末元揚槌、內田重郎

▲輕傷 東島政一、西尾松藏、弓場德次郎、高見登、井手鐵次郎、山本長太郎、山本ミヤコ、坂根忠三郎、三好彌吉、望月太喜工門、熊本研太郎、小野彌一、深見勇藏、山脇トセ、山脇壽十郎、平井ハツ、田衛手三郎、米田千代、渡邊新作、井上勇三、小笠原弘吾、吉見政一、小野近平、小野彥馬、木村豐吉、添島都一、信原ユキ、上村武雄、佐々木春太郎、前川秀治、大田良三、伊藤高助、岡田柳吉、吉田シマ、安藤德造、大野良誠、長井正喜、伊藤孝助、高橋德次郎、川崎貫一、田邊正、杵屋勝四郎、五須原清助、鵜澤房太郎

▲小團次も私も血塗れです 松竹合名會社支配人山森氏の遭難談

遭難者の一人なる松竹の支配人山森氏は曰く私は二十六日門司で小團次に會ひ是から雁次郎の方へ行く爲に仕立する偶に小團次と共に一等寢臺車に乘込み海岸に面した方の寢臺に小團次は向ひ合せの

◆寢臺に腰掛て居ました 發車すると間もなくバーンと凄じい音響と共に窓硝子がグワラグワラと突破られて私や小團次の顏に正面にブッつかりますと同時に車臺が非常に震動しましたスワ大變だと起上らうとする瞬間に天井に在つた石でも落下したと思ふ間もなくバリバリと

◆天井や上部の寢臺が落かゝつて私の頭を押へつけたので私はハッと思つて身を縮め僅の隙に身を引いて小團次を見ると顏一面に血を流して居ました隙に引返して繃帶を施して貰ひました(門司)

▲危くは無いか注意はしたが遂に大事に至つた 爆發目擊者の一人語る

又當時爆發箇所に最も接近し船荷役に從事中なりし西細江町運送業三榮組合員の語る所に依れば火藥積込みの作業も追々進捗し最早殘額二三十噸許りにて全部終了の樣子に見ゆる折柄右火藥の取扱ひ餘る手取早く他所目にも其の勢ひ餘りに荒々しく見えしより當方にて危ない事は無いかと注意を與へたるが相手は一向恐れ氣もなく何のそんなに危ないものぢやありませんと許り平氣に積込みを急ぎゐたる一刹那此爆發を見たりと

○飛行協會に 金百萬圓御下賜

副會長長岡中將へ御沙汰あり

波多野宮相は二十五日帝國飛行協會副會長長岡外史中將を招致したと承はるが同會へ一百萬圓の御內帑金御下賜の思召ありしやに洩れ承はる(東京特電)

◇子福者の垂井將軍

新任鎭海灣要塞司令官の家庭 朝鮮へ赴任は八月二十日ころと夫人のお話し

元野砲兵第一聯隊長砲兵大佐にして新たに少將に任ぜられ鎭海灣要塞司令官に補せられたる垂井明平(五二)氏を四谷右京町十六番地の邸に訪へば、垂井少將は不在にて夫人宏子(四二)の方が替つて面接する『主人はもう出勤しました』と言ひながら『東京を出發致しますのは來月の二十日頃にならうと思ひます皆んなで任地へ參りますれば、これでも何彼と準備も要ります、家族ですか子供が大變ございましてね、二十二の長女を頭に下が七人都合八人ございます』と、やがて次女の久(一八)嬢が持つて來られた一葉の寫眞を出さる長女の英子(二十二)樣は、一昨年旅順高女を卒業し、長男朝明(一九)氏は東京府立第一中學校を本年卒業後第一高等學校入學の御志望又次女久(一八)嬢は目下三輪田女學校に在學中此方の御親戚へお預け成さるとのことです其の他のお子さん方も其れぞれ小學校に通つてゐられます。

(寫眞說明)右より ▲後列 長男朝明(十九)長女英子(二十二)前列 次男恭明(十二)四男武明(三歲)三男昌明(八歲)三女雛子(六歲)四女光子(五歲)次女久子(十八)(上)垂井明平少將(東京特信)

○汽船綠丸沈沒

乘組員は無事

全南莞島警察署管內所安島沖にて二十六日午後六時頃汽船綠丸(八百一噸)が沈沒せしが乘組員全部救助されたる旨全南警務部より警務總監部へ入電ありたり

○小富士丸坐礁

下關日本水產株式會社所有汽船小富士丸(百三十二噸)は十四日馬關出帆咸鏡北道雄基に向け航行中七月十七日午前三時四十分頃江原道江陵郡注文津面於蓮里沖二十間許りの海岸にて暴風浪に襲はれ曳きゐたる小舟の中綱を切斷され小舟は波の爲め流失したるより之れを搜索中進路を誤りて暗礁に坐礁し船底に長さ十五尺巾五寸乃至一尺許りの龜裂を生じ且つ舵機をも損傷したるが所轄官憲は附近の漁夫を指揮して救助に努め同日午前九時頃辛く離礁せしも進退の自由利かず下關及び元山に打電して來援を求めたる上廻航せしが同船は船長土井金八以下十七名の乘組員は全部無事なるも船體の修繕費には約七千圓を要すべしと

○京城中學生義勇兵を志願して長春に出奔

京城中學校第四學年生徒佐賀縣士族德田稔(十九)三重縣平民岡本忠次郎(十九)秋田縣士族片岡竣次郎(十九)の三名は滿洲にて西伯利に於ける義勇兵募集に應じ二十三日長春に至り橋本警務署長に面會して應募上の斡旋を賴みたるに署長は彼等の心得を說諭し將來有爲の學生が中途より學業を廢して兵卒になるとは何事ぞと叱責したるも血氣にはやる彼等は聽き入れず是非義勇兵として奮鬪したしと云ふに付署長は京城の父兄等に打電して其意を微したるが父兄等も持て餘して今更致方なければ何れへか奉公口を賴むとの返電ありしに付目下旅館に宿泊せしめつつあり(長春)

○電車運轉手運轉中立眠を爲して正面衝突

大事に至らざりしこそ幸なれ 危險極まる不注意運轉手よ

二十八日午後三時四十分頃京城市內京城電氣株式會社の百十二號電車が黄金町より光熙門の停留場に到著して停留中往十里より進行し來れる百十八號電車には運轉手李順容(二十)が乘組みて操縱しゐたりしが同人は把手を握りたる儘居眠りゐたる爲め前方に電車の停留し居るを知らず危く接近し來れる際居合せたる補助監督が怒鳴りし聲に初めて眼が醒め狼狽して停車せんとせしも及ばず遂に百十二號電車に正面衝突するに至り百十八號電車の探燈を粉碎したるのみにて乘客は一人も怪我なかりしは何よりの幸ひにて一大事なりしと

○郵船酒田丸船員二名遭難

木浦沖にて暴風雨の作業中

郵船酒田丸(二千八百四十五噸)は大連を出でて門司に向ふ途中二十六日暴風雨の爲め木浦沖所安島に避難し錨地を變更すべく作業中一等運轉士山田博、廣田細谷桂の兩名は打ち寄する大波濤に呑まれて行方不明となれり酒田丸は搜索の結果餘儀なく同日夕刻所安島を出で途中港門島無線電信所に依賴して此の旨木浦警察署に急報して門司に向け出港せり

○日連丸濟州島沖に遭難

木浦より扇海丸救助に急行

尼ケ崎、林尾汽船合資會社所有汽船日連丸(一千百九十二噸)は濟州島城山浦附近に於いて遭難し危險の狀態に陷り救助を賴むとの急報ありしより木浦より警備船扇海丸を二十八日木浦現場に急行せしめたる旨全南警務部より警務總監部へ入電ありたり

○浦鹽の我救護班開院

菊池總領事夫人以下篤志看護に努む

過般浦鹽に急派されたる日本赤十字社救護班は敵國陸軍病院を借受け廿七日より開院せるが收容患者はチェック軍將卒四十八名にて菊池總領事夫人以下の篤志者婦人看護に努め患者は皆日本官民の溫情に感泣し居れりとの報あり(東京電)

○提出論文は蛋白營養に關する實驗

奉天南滿醫學堂內科醫長戸谷銀三郎博士の談

奉天南滿醫學堂の內科醫長戸谷銀三郎氏は今度新に醫學博士となつた、先日本社の東電を持つて新市街の新博士の宅を訪れると博士は浴衣がけの凉しさうな姿で卓かしにボツボツ語る『私の提出した

◆論文は蛋白營養に關する最近の實驗の一つとでも云ふべきもので私自身としては主論文よりも參考に出した他の幾つもの方が相當なものだと思つてます、主題は極めて微量のチロヂーンを含んだ食物をもつて動物を飼養する實驗……と申すので、これには卽々議論のある問題です、元來蛋白質の營養といふとは近年大分學者の解が變つて來ました、これまで蛋白は直接に身體の消耗を補ふと言はれてゐたがそれ以外もつと必要な條件に使用されるだらうと考へられて來ました、例へば

◆蛋白質には窒素を含んでゐる、人體に要する窒素の量は從來は單に蛋白だけでよいと云はれてゐた、然るに實際はさうでないとが解つた、卽ち蛋白のゼラチンをいくら澤山與へても動物は成育しないで死ぬるのである、さうすれば蛋白を構成してゐるものの成分如何により營養になるならぬといふとになる彼の牛乳の主成分は蛋白であつて蛋白のカゼーン中にはトリプトパンがなくては動物は生きて行けぬものである前記ゼラチンで動物が生育し得ないのはその中にトリプトパンが無いからである

◆然らばチロヂーンといふものは什麼ものかといふと從來獨逸の學者中には是非共これがなければならぬといふ見解をもつてゐた、しかしそれは粗漏であると思はれるチロヂーンは牛乳蛋白中のカゼーンから全然とり除けることの能きぬものであるが若し之が無くともフエニールアラニンといふものがあれば之に代用することが能きるものである同じ蛋白でも前記ゼラチンで動物が生き得ないのは卽ちこのチロヂーンもフエニールアラニンもわづかより含まれてないからである、殆んどないと云つてもよい位だからである、然るにトリプトパンのみがあれば之等のものがなくとも單に

◆動物を養ひ得るといふとも實驗されたさうするとこれまで人の云ふやうにチロヂーンは必ずしもなければならぬとはない……といふ結論になるのが私のこんど試みた實驗でこれは主として英國の劍橋で研究したのでした……』この話であつた、序に博士は京都大學を優等で出て醫化學及び內科を專門にやつた人と聽いたので、このごろの食料問題を訊いて見た、博士曰く『このごろ豆粕飯とか何とかいろいろの食物が出るやうですが食物の改良も少しは學問に

◆基礎を置かぬと駄目かと思ひます、私は大正二年の冬頃に留學してあちらで大戰に際會しましたが當時獨逸では大學の先生達が厨夫を集めて料理法の講義をはじめてゐました次いで英國に行くと同地でも公園に馬鈴薯を植ゑるといふ有樣で各國共に食料問題に注意するやうになりました只今世界中で一番食物の豐澤なのは日本位なものでせうわれわれは大に食物といふとに注意しなければなりません先づ私に言はせると日本の家庭で一軒一軒米の飯を炊くのが不經濟だと思ひます、これは是非一まとめにして造る外國のパンの如きものにする

◆必要がありますまたどうしても米でなければ食はぬ、外米を輸入してもどうしても米でなければ活られぬといふのも考へものです、滿洲あたりでは何かこれの代用品はないものでせうか、學者も營養學の基礎に立つて充分研究する必要があると思ひます……』

灯

○明治天皇御忌法要(若草町) 本派本願寺別院にては來る三十日午後二時より先帝七週年御忌法要を嚴修し讀經後聖德奉讃講話あるべしと

▲南山の女教院は例年の通り八月中旬から卒業生の夏期講習を催し九月に合する由であるが今年は經染の講習ださうだ

▲卒業生中には小原長官夫人が經染に對する智識が非常だから是非夫人に講習をお願ひしたいと言てゐるものが多いので近く交涉するとの事である

▲上流夫人が斯した事に盡力するやうになつたのは結構なことだ

▲過般來民道樂鼓吹の爲め朝鮮各地巡回中の川上眼了師は去る二十一日紙面に記したが此の程本社に鄭重なる謝狀に添へ巡回狀況なるものを送つて來た▲それによると博士は在鮮五十七日の間に十三道十一府二十六郡三十面里九十一箇所で開會、合計百十六席の演說を試み、聽衆は三萬五千九百十人に達した又この演說の爲めに二千五百八十一里半を跋涉したことになる相だ

仁川期米

二十九日の九月限

◆二十九日後場 [illegible]

[illegible]

警備船鳩丸の損傷

[illegible]を召集して協力之を安全の場所に避難せしめたるも漁船の破壞[illegible]

同日午後三時暴風雨となり驟水[illegible]二十町歩の被害あり此の外各地に於ける家屋の倒壞、船舶の流失[illegible]を往復する定期自動車は途中運轉不可能[illegible]

文部省課題及募集規定

□募集規定 [illegible]

天氣 曇一時晴

株式會社第一銀行 第四拾四期營業報告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
諸預金 公金預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
特別當座預金	[illegible]
定期預金	[illegible]
諸預金	[illegible]
他店預金	[illegible]
賣渡外國為替	[illegible]
仕拂承諾	[illegible]
銀行券消却資金	[illegible]
本支店間未達勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未經過割引料	[illegible]
前半季繰越金	[illegible]
當半季純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	[illegible]
諸貸出金 貸付金	[illegible]
當座預金貸越	[illegible]
通知預金	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷付為替手形	[illegible]
入拂店勘定	[illegible]
外國為替	[illegible]
承諾見返	[illegible]
公債證書 外國債證券	[illegible]
營業用土地建物及什器	[illegible]
諸不動產	[illegible]
所有株	[illegible]
預ケ金	[illegible]
現在金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定

科目	金額
當半期純益金	[illegible]
前半期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
內 役員賞與金	[illegible]
行員恩給及退職給與積立金	[illegible]
舊株配當金(年一割二分)	[illegible]
新株配當金(年一割二分)	[illegible]
後半季繰越金	[illegible]

大正七年七月

東京市日本橋區兜町壹番地

株式會社 第一銀行

頭取 佐々木勇之助
取締役男爵 三井八郎次郎
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄
取締役 佐々木慎思郎
取締役公爵 德川慶久
取締役 田中源太郎

右各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス

監査役 土岐僙
監査役 尾高次郎

追而取締役二名增員選擧致候處石井健吾、西園寺龜次郎當選就任仕候

イケダ小兒內科醫院

池田季[illegible]

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅三〇〇番)

都山流尺八指南

京城 入門者募集 [illegible]

佐藤都合

早稲田大學學生募集

部	科	學年
專門部	政治經濟科	第一學年
專門部	法律科	第一學年
大學部高等豫科	政治經濟學科	第一學年第二學期
大學部高等豫科	法學科(獨法、英法)	第一學年第二學期
大學部高等豫科	文學科(哲學、英文學、史學及社會學)	第一學年第二學期
大學部高等豫科	商科	第一學年第二學期
大學部高等豫科	理工科(機械、電氣、採鑛冶金、建築、應用化學)	第一學年第二學期
高等師範部	國語漢文科	第一學年第二學期
高等師範部	英語科	第一學年第二學期

△上記各科共九月一日(日)午前八時より專門部は學力考査、各豫科は編入試驗を行ふ。

△中等程度諸學校優等卒業生は專門部に限り無試驗入學を許す。

○入學願書は八月二十六日より受理す。

○規則は郵券三錢封入請求のこと。

○經濟鐵道たる 平元線(一)

◆平壤商業會議所調査◆

平元鐵道の速成を叫ぶに先だち平壤商業會議所に於ては間城書記を派し平元線一帶地勢の實地踏査を遂げ本月上旬踏査之が調査報告を見るに左の如し

平元道路の概觀

◆道路の延長 平元道路の改修は明治四十四年七月告示せられたる朝鮮第一期治道計畫に屬し總工費一萬二千圓を以て五箇年を費し竣工せる幅員四間の國道なるが其の總延長五十七里十三町に達し鐵道に比し二里餘町の遠距離なるも全く面目を一新せり、然して此道路は先づ平壤を發して背田に於て大同江を渡り江東邑內より成川を經て陽德に出で朝鮮◆脊梁山脈を橫斷し◆て元山に出づるものなるが在來の道路は山河の自然に依る山徑河底或は谿谷の小徑にして岩石兀突凹凸起伏甚だしく而も河流には架橋無く交通頗る不便を極めたるも新國道は紆餘曲折蜿蜒として坂路の勾配少からざれども今や牛馬車人車及び自轉車を通ずるを得て人肩馬背に倚るの外無かりし往時に比し全然舊態を一變し物資運搬の利便多大なるものあるに至れり殊に

◆國道を改修 せし結果こして交通往來頻繁を加へ旅客の增加顯著にて現に平壤元山の何れよりも發足するも其の一日行程の位置には必ず戶口の增加を來し鮮人の旅店及び酒家の新築甚だ多く交通の開拓が土地の盛衰を左右するの事例を最も現實に證明せり而して國道の沿線は都邑宿驛を除きては未だ

◆人煙稀薄を免れず 殊に成川以東は山間の僻地なるが故に一般產業の狀態は尙幼稚の域を脫する能はずと雖も漸次沿線各地方の戶口を增加し文化を進むると共に住民の經濟力の向上を致せるを認むるに足るものあり就中

◆產業の施設 に就ては當局の指導奬勵に依り著るしく面目を一新し生產額の增大を來せるが加ふるに道路改修の恩惠に浴ふてより益々其の改善進步に資するに至れるは勿論なるも本道路は平壤江東間の約十里を除く四十七里は坂路の勾配多き爲め

◆商品の輸送には 勞力並に時間を要すること多大にして隨つて運賃上の採算不利を示し獨に成川方面に於ける豐富なる鑛山開發の如きも其發達の遲緩を免れざるなり地下の寶庫は空しく開拓の自由に任せず所謂山中曆日無しの狀態きにあらずと雖も之れを京元鐵道沿線に比せば頗る優秀なるものあるが如く山腹平地共に能く墾せられ荒蕪地は至つて稀なるを認む、以下沿線其他主要狀態に就き記述すべきが之れを概觀して平元鐵道敷設後の將來に想到せば彼の鑛產、林產等の大物資を始め沿線の生產力は頓に增大を來し交通並に一般產業經濟界の革新に資することは洵に絕大にして單に地方的開發より見るも極めて

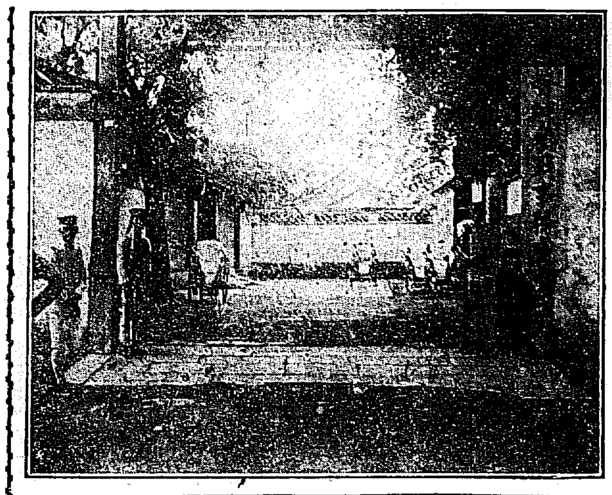
◆緊要緊切なる線路◆たるは勿論なるのみならず黃海こ日本海こを連絡し京義安奉二線を通じて滿蒙に對する最捷路を實現し內鮮滿の距離を短縮することに依つて軍事に經濟に其偉大なる價を發揚するは贅するを須ひざるところなりとす

○安東縣財信

各地財界の好況に伴ひ當安東縣の財界も活氣に充ち殊に此の地は木材市況の旺盛こ柞蠶製絲紡織術の勃興こにより內地初め北支那中部支那及び滿鮮各地に於ける商取引は空前の盛況を呈し本年滿洲商業銀行の百萬圓增資を初めこし近く南滿銀行併合の事あり奉天に支店開設の運びこなり更に本溪湖に出張所を開きたるなり又遠からず進捗し居れるもの、如く一方安東銀行にては從來の本溪湖撫順奉天のみの支店にては時勢の要求に副はざるを觀破し朝鮮銀行大連支店新築の議決するや逸早くも舊建物に著目し該建物を讓り受くべく交涉纏りたる由なるを以て是れ亦遠からず大連に支店を設置し以て奉天安東の兩地こ相呼應して金融市場に雄飛を試むべく準策中なれば本年下半期中若しくは遲くも來年上半期中には其の實現を見るべき豫定なり又從來內外の信用篤かりし安東信託會社も時代の要求に伴なひ目下增資計畫を進めつゝあるが同會社は現在資本金三萬圓にして拂込濟七千五百圓なれば此の際直ちに增資を決行せず本期決算期に於て更に四分の一の拂込を終りて下半期に於て全額拂込みをなすこ共に增資決行の運びこなるべき豫定なるが其の增資額も目下三十萬圓五十萬圓及び百萬圓の三說ありこいふ又最近東省實業公司の代理店引受けあり其の他新事業開始の目論見も進みつゝある模樣なれば多分五十萬乃至百萬の增資を見るべく殊に市中其の他の該會社の前途に囑目する者極めて多ければ增資の際株式募集の上には何等の支障を見ず頗る盛況裡に運ぶべく豫想されつゝあり(安東縣)

★支那の浦鹽出兵—督辦參戰處

支那の督辦參戰處は王士珍內閣こ段祺瑞內閣の交代時に設立せられたるも何等具體的の活動なかりしが今次の日支軍事協定以來著しく頭を擡げ殊に日本の出兵と共に支那は浦鹽へ一千名の支那兵を派送する事に確定し入れ各協商國へも非公式に通告せるが參戰處は尙ほ東三省及び外蒙古の必要地點に大增兵をなす所謂防衞兵の計畫を立て目下其進行を急ぎつゝあり。(參戰處は活躍せる怪物參戰事務處なり(北京)



○五割上げ 銀相場の關係上

餘儀なく引上げたる運賃

吉會鐵道は旅客貨物其他賃金料金共五割引上げたるが吉林長春在住の我木材業者其他支那側商務總會等は何れも値上げに反對の陳情を爲したるを以て四割引上げに改め去る二十一日より之れを實行せるが該運賃引上げの主なる理由は支那の各鐵道が悉く大洋建なるに吉長鐵道のみ小洋票建こなり居たるを以て近來銀元こ紙幣この開き四割五六分より五割五六分に至り收入に小洋票を以てし支出に銀を以てすれば五六割の損失あるを以て今回の値上げは鐵道こしては利する處なく銀紙の差に對する收支平均を取るの手段に外ならず(大連)

○問題となりたる 大連の保險率

保險會社新設か

外國保險こ交涉するか 但しは讓步すべきかの三途

大連埠頭野積荷物に對する火災保險の復活に就き保險團は貨物の罹災の場合七割五分を保險會社の負擔こし二割五分を荷主の負擔こする事に主張し之れに對し荷主側にては九割を保險會社の負擔こすべく交涉中の處保險團より此の申込みを拒絕し來れるを以て更に滿鐵及び荷主側にては新保險會社を創立するか或は他の外國保險會社こ契約を爲すか又は更に讓步して保險團こ交涉を重ぬべきかに就き協議を爲すべしこ(大連)

○北滿の獨墺俘虜軍

奧地は引揚げにて混亂を極む

滿洲里の形勢は廿二日稍小康を保てるが如きも而も累卵の如き危險は尙ほ毫も變らず獨墺軍の兵力が果して風說の如く一萬二千の多數なるや否やは分明ならざるも同軍中のマヂャール軍は確かに二千名ある事は事實なりされど決して一萬二千の多數ならざることは想像に難からず而して敵軍は既にセ軍を滿洲里に壓迫して殆んど包圍の狀態にあり、さればセ軍の本部は今や滿洲里に退却し其の第一線は同地より約一露里半の地點にあり

◆支那軍の前衞に向て◆ 砲擊を開始したる爲め支那軍は早くも銃鋒を避けて引揚來り敵軍の一部が既に支那領內に侵入せるにも拘らず進み戰ふて之を擊退するの意なきやに傳へられ居れるが國境の不安斯の如きを以て既報の如く滿洲里在留の我婦女子を海拉爾に引揚げしめたるを始め東支鐵道從業員の家族其他今や

◆陸續こして海拉爾に◆ 避難し七列車にも達せるが夫等の貨物運搬の爲め兩地こも非常なる混雜にして尙ほ兩地間に特別列車の運轉を開始したるに徵し如何に危險を來せるかを想像し得べし又聞く處に依れば敵軍は支那側に對しセ軍の武裝解除要求の最後通牒を發すべしこ云ふが尙ほ實行はされ居らざるも何れ此の事あるべくても容赦なく解除せしむべしこの風說あるが之れより先義勇兵は時節柄既に解散され陸續こして當地に歸來する者多し又滿洲里より歸哈したる人の言に依るに殘留男子も亦海拉爾に引揚げを開始し頗る雜沓を極め居れりこ(哈爾賓)

◆日本人義勇軍に對し◆

◆一般市民諸彥に翹望せられた兩社主催漢江觀火大會の催しも◇昨今の霖雨に強雨猶ほ未だ歇まず◆遺憾ながら廿七、八日の開催は斷然中止する事に致しました就ては觀覽區域を擴大し◆新龍山人道橋上より麻浦前面に至る迄延長◇捲土重來再擧を企て申居候◆決行期日は追つて發表致す可きが◇準備完成の當夜の觀火會は◆一段の快感を諸彥に與へん事を豫期致居候

京

漢江觀火大會延期

○浦鹽こ滿洲

一日一回の運轉

過日來不通なりしポグラニチナーヤ、グロデコオ間は七月二十三日より開通し滿洲里浦鹽間は毎日混合列車一回に限り直通運轉し其他は滿洲里ポグラニチナーヤ間を運轉する事こなりたり(大連)

○大連の市會

大連市會は去る廿五日市役所樓上に開催市區町名改正案を討議し一決定し市會議事前正金銀行支店長井上一男氏に對する感謝狀贈呈の件を議し次に市長以下の宿舍料支給規定を改め市長に月額百十五圓助役に四十圓月給八十圓以上の書記に二十七圓月給五十圓以上の書記に二十圓月給五十圓以下の事務員に十五圓乃至十圓を支給する事に決定せり(大連)

○慶北共進會

◆協贊會理事會 大邱府協贊會常任理事會にて寄附、募集委員は去る廿四日同事務所に於て寄附金募集方法に付打合せを爲したり

◆出品申込締切 慶北共進會に於ては豫てより內外各地に亘り洽く參考品其他の出品勸告中なりしも最早一段落を告げたるを以て一切の出品申込は本月中を以て締切る事こ爲したり(大邱)

○持米の調査

◇晉州郡廳にて開始し

慶南晉州郡廳にては米價の昂騰を止する所を知らざる今日大農が貯藏米を有するに拘らず前途の昂騰を見越して賣惜めるを以て過般慶尙南道廳より調査命令ありし結果郡廳にては貯藏在米數を取調中なり(晉州)

輕鐵こ古蹟

朝鮮輕便鐵道株式會社の大邱浦項線大邱、慶州間は愈々八月一日より營業を開始することゝなれるが同會社にては同時に上田猷心著『輕鐵沿線名勝古蹟』なる冊子を發行し廣く江湖に新羅の舊都たる慶州地方の古蹟を紹介する計畫中(大邱)

○新安州製鐵業

新安州朝鮮製鐵所は既報の如く去る十七日第二回火入式を行ひたるが第一回は耐火煉瓦の溶解よりして遂に不成績に終りたるを以て其の後再び修理を加へ研究を重ねたる結果今回の火入を行ひたるに耐火煉瓦其の他一般の成績頗る良好にして毎日熟鐵の迸るを見つゝありこ(新安州)

○朝鮮輕鐵總會

朝鮮輕便鐵道株式會社は來る八月十二日[illegible]帝國鐵道協會に於て第五回定時株主總會を開催すべき筈なるが其議案左の如し

(一)第五回自大正七年一月一日至同年六月三十日營業報告貸借對照表財產目錄承認の件(二)損益計算政府補助金及び利益金處分案承認の件(三)取締役監査役補選の件(四)定款變更の件(五)會社代表者の件等なりと(大邱)

○殖銀株と淸州

農工銀行淸州支店及忠州支店の取扱ひにかゝる殖銀應募株は優先五三四普通八七二四合計九二五八株にして株數の割合に口數多しこ(淸州)

○上海事件こ 邦人の死傷

◇被害者中に婦人あり◇

上海支那巡捕暴行事件の際邦人の死傷せし者左の如くにて中に婦女子あるを見ても如何に支那巡捕の橫行を逞ふせしかを知るべし

□即死者 巡查 澤田定治(三三)眼科商原山高(三七)

□重傷者 森正義、伊藤安之助(以上打撲傷)、福田隆三(二五)(眼言貫銃創)森達一(打撲刀創)

□輕傷者 今泉琢磨、天ケ谷八城、小寺金四郎、戒能美、後藤○夫、保田ハルエ、川村五郎、種透(以上打撲傷)

○四人組兇賊

◇四十二箇所に押入り◇

◇數千圓を強奪せし賊◇

五年越て捕はる

黃海道黃州郡黃州面[illegible](五十)同郡黃州面[illegible]里二五飲食店者盧錫成(四十)同郡九聖面謹宮里慶金世河(四十)の四名は共謀して去る大正三年十二月二十四日各自擬裝銃等を携帶し黃州郡永興里金致先方に押し入り價格百圓に相當する物品を掠奪したるを手初めに本年七月六日迄に黃州、砂利院、兼二浦等四十二箇所に押し入り數千圓の強盜を働きたるが遂に惡運盡き黑橋面金召史方に押し入りし處を黃州署の手に捕へらる(兼二浦)

○僅か十四歲で 監獄行を志願す

◆繼母に虐められるより◆

大邱元町理髮店小泉方に最近傭ひ入れたる田中義男(一四)は家人の眼を窃み店の金五六圓を攫き集め其儘行衛を晦ましたるより種々搜索の末漸く義男が大邱座にて芝居見物中の處を發見し警官の取押へたるが元來此の少年の兩親は京城に在る母親は繼母にて母より虐待さる、處より居溜らず近所の某方にて旅費を盜み出し釜山へ行きたる所を取押へられ監獄へ行つて見たいとの考へより年齡を僞り歲を餘計に申立て一度有罪こ決定したる其後事情判明して不起訴こなり大邱出獄人保護會にて預かりたるを最近前記小泉方に預かる事こなりたるものなりこは呆れ返つたる小僧こいふべし(大邱)

○流行の早起會

◇淸州小學校に於ても◇

早起會は各地到る處の流行こなり起會に馬山小學校生徒の早起會の事を傳へられしが東北淸州小學校にても夏期休業中早起會を實施して七月二十一日より毎朝午前六時に集まり喇叭の聲を合圖に三百の勇ましき兒童は運動シャツに跣足にて校庭に集合し朝露を踏みつゝ喇叭の吹奏につれ大家校長以下職員に引率されて東公園太神宮に參拜して毎朝徒手體操をなしつゝあり(淸州)

○朝鮮人の造る 滿洲各地の繩

◆奉天のみで月十萬斤◆

奉天に於ける製繩業は最近水田業の發達に伴ひ漸く昨年頃より二三鮮人の注目企する處こなり現今にては奉天警務署前に同義公司及益信號が製造販賣するのみにして前記二店こても營業開始以來日尙淺きこ、て果して豫想通の需要ありて收支相償ふや又將來有望の製品なるや目下試驗中なれば斷言致し難きも奉天が今後徐々發展し建築業者其他製材業等の旺盛なるに伴なひ當然之が需要も增加すべく本年三月二十日迄に前記兩店が撫順大連海城等へ供給せし繩は約十萬斤に上り目下約六十萬斤の在庫品ありて毎月約十萬斤づゝの製繩を得つゝある由なれども之が需要は夏期に向へば毎月約四十萬斤に上るべき見込にて目下奉天附近の水田經營鮮人を使用し極力製造を急ぎつゝあるこいふ製繩百斤の賣價は乾燥せるもの二圓五十錢乾燥せざるもの二回より上物三圓位迄乾燥せざるもの二回より上物二圓五十錢位迄にして製造方法は器械を鮮人に貸與して製品を得つゝありこいふが夏期に至れば水田手入の爲め製產力減少するに至るべく夫迄に一箇年分の需要高を製造するなりこ而して之が用途は主こして近來支那人間にも麻繩の代用こして廉價なる點に注目され使用され來れりこ(安東縣)

農信

◇平北江界 平北江界郡に於ける春蠶販賣成績は頗る良好にして產額八百石價額約五萬圓に達し昨年に比し二萬圓の增收を見たりこ(江界)

張三李四

◇井戶に投ぜし蘭姬◇ 大邱京町一丁目朝鮮人醫師朴永大の妾崔蘭姬(二三)は深夜同家裏の井戶に飛込み自殺したるが原因は不明なるも家庭の波瀾よりならんこ

◇就寢中に轢き殺さる◇ 大邱浦項輕鐵列車の線路を枕に就寢しゐたる二鮮人一人は轢かれて即死し一人は重傷を負へりこは地人鮮人の呑氣さ加減呆るる外なし

◆將校官舍を覗ふ者◆ 平壤步兵七十七聯隊將校官舍構內を徘徊せる怪しき男あり取調べしに平壤本町一三李應化長男龍(三三)こいふ精神病者こ知れ放還せらる

◇元山にても早起會◇ 元山公立尋常高等小學校でも尋常三年以上の生徒は毎朝必ず五時に起きて學校に集まり體操をして解散するを日課こなし居れりこいふ

今般榮轉相成候松川軍事參議官立花古海兩師團長竹內聯隊長各位の爲來る八月三日午後七時より朝鮮ホテルに於て送別會相催度候間何卒御贊同被下度尙御出席の向は來る二日正午迄總督府總務(電話構內一一番)京城府廳(電話六六六番)軍司令部(電話龍山二三三番)朝鮮ホテル內へ御申込被下度此段得貴意候

追而會費金四圓當日御持參の事

大正七年七月二十九日

發起人(イロハ順)

市川堅太郎 石原磯次郎 芳賀榮次郎 萩谷籌夫 子爵 趙重應 趙鎭泰 伯爵 李完用 小原新三 大塚常三郎 大垣丈夫 荻田悅造 加藤房藏 川上常郎 金谷充 韓相龍 高野省三 子爵 宋秉畯 宇佐美勝夫 久保要藏 釘本藤次郎 前田昇 松永武吉 松崎時勉 馬詰次男 牧山耕藏 國分三亥 國分象太郎 古城管堂 美濃部俊吉 人見次郎 久水三郎 持地六三郎 關屋貞三郎 鈴木穆

藤原商店

本店 東京市麴町區有樂町一丁目五番地 電話本局 一二八七 長 一三五二

支店 大阪市北區堂島中一丁目 電北四八一一番 神戶市北長狹通四丁目 電三宮二五二一番 朝鮮京城長谷川町一一六 電一五四三番 滿州大連大山通一丁目 電六〇二番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御需めに可應候 京日寫眞製版部

かぜに良し ねつに又よし ヘブリン丸 ハカリ印を忘れ給ふな

ハカリ印 商標 定價金十錢以上 家庭用金五十錢、郵面

大連燒酎 一度飲めば外の品は飲めなくなります 大連市 大連燒酎製造所

商況

東京期米特電 未着

兵庫期米特電 未着

大阪期米特電 未着

下關期米特電

二十九日後場 大引受渡高二百石値段二十八圓九十錢

眼込み佳良なると正米現物不足と逆鞘の強買により全國第一の高場となる

	當限	中限	先限
寄付	三一、〇〇	三一、〇〇	二九、[illegible]
高値	三一、〇〇	三一、〇〇	二九、[illegible]
安値	三一、〇〇	三一、〇〇	二八、六五
止め	三一、〇〇	…	二九、三[illegible]

雜報

●**正米大沸騰** 地場正米は在米稀の折柄既報仁川筋よりの買進み交渉中の一方には**更に仁川筋の商談**加はり**人氣沸騰** 今日に至り運外の突飛高を演じ……**約百二十丁方の大暴騰** **賣物殆ど皆無の姿** ……**精米原料に窮する場合**……

●**白米も暴騰** ……

●**大麥好氣配** ……**三五十錢方昂騰**せり

●**支那粟不昧** ……

●**糯限先高舍** ……**十錢方下押**せり

●**籾は賣物薄** ……

●**洋釘値上げ** 近來洋釘は殆んど立たず見當相場は昨日通り三等玄二十八圓五十錢見込み立たず強氣多し……

●**大阪入電** ……**一圓方昂騰**の結果**三时にて二十四圓**……**丁度一兩日中に尚多少の引締**……

●**平板又新値** ……**約十錢方の引締**……**厚番**……**目先一段の強氣越**

●**石油値上げ** ……**各五十錢方の値上**げ……

●**小賣白米値上** ……**明三十日**より**一錢方引上**げ……**等米三十三錢五厘**……

南大門廻穀

仁川正米

生魚市場

下關相場

各地商況

仁川期米

▲**二十九日前場（急激大爆發）**

秋蒔種子荷揃 大阪 大田本町一丁目 松田商店 振替京城三三七三 電話長一三九

期米爆發す

倉庫 **朝鮮倉庫株式會社**

▲**第五節** ……**爆發を演出**……**大變動の裡に**……**錢と新高値に爆騰**……**遂に三十**

買物輻輳し前に新規

大爆發……**一圓五十錢切**

動說と強氣筋の再活動機

期米爆發す

五圓の大關門突破

買方の再活動

▲**當限の一代**

人氣は大に動搖

前に新規に買物多く二十四圓五十錢と上放

多く五圓臺に沸

市場雜觀

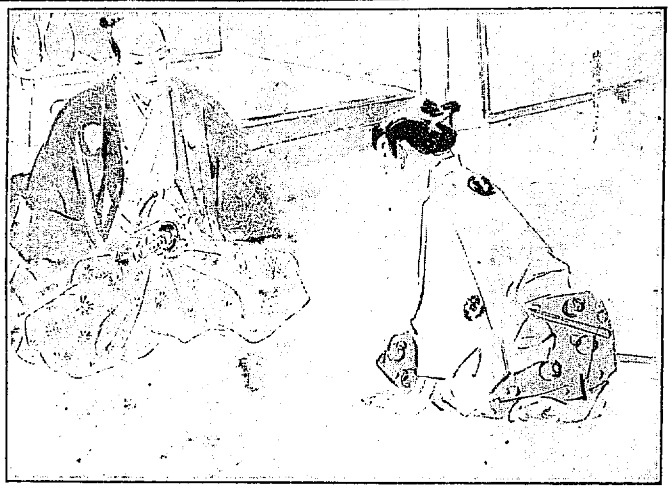
廣澤正次郎 期米賣買仲買人 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七一六〇番

仁川米豆取引所 廿九日の九月限

白米標準値 三十二圓五十錢

全高田仲買店 株式會社仁川米豆取引所仲買人 證據金壹百石に付 金壹百圓 ●前金御注文は紹介不要 ●需要案内は電信略號表進呈 仁川海岸町三丁目 電信略符タツ 振替三八一一 電話長一〇〇 電話長一一九

第百五十席 塚原卜傳 悟道軒圓玉口演



佐竹彈正左衛門の一子長一郎、父の恨み小太郎を討たんと上京の途次、上州坂本の宿に於て圖らず道伴れとなつた武藝者の話に、龜井新十郎殿こそ日本一の槍術の達人、塚原に勝りこそすれ劣らぬ技倆といふ事を聽きましたから大に喜び、長『ハア其れは宜い事を伺ひました、然らば拙者も早速鳥取へ參りまして龜井先生の御指南を仰ぐことに仕まつりませう、シテ貴方の御名前は……』○『イヤ俺は名もなき武者修業、名乘つてお聞かせ申すほどの者ではござらぬ、縁あらば重ねて面會もいたすであらう、折角御練磨なさるやう』さういつて名前は名乘らぬ、其儘にして袂を別ち、右の武士に於ては何處ともなく立去りました、之れは何者でございませうか、さて長一郎に於ては道を急ぎ、中仙道を京都へ上り、花の都の賑ひも心急ぐ身に面白からず、直に丹波路へ入つて鳥取へと志して參りました彼の小式部の歌に『大江山いくの、道の遠ければまだふみも見ず天の橋立』と詠じたる都に遠き丹波の山路鬼の住みしといひふ大江山を左手に見て丹後へと出で但馬の國を經て因州鳥取へと到着し城下へ入つて龜井の道場を聞くと直に判りました、城主吉川殿の招きを辭して城下の住居をして居るが立派な道場、表看板に墨黒々と『龜井流槍術指南龜井新十郎源』と認めてある 長『賴む』○『ドーレ』と出て來た門人、稽古をして居たものと見えて稽古着に襷を掛けポツポと頭から湯氣を立て、居る○『何誰で……』長『拙者は常陸國、佐竹の藩中にて佐竹長一郎と申す若年者、大先生の御高名を慕ひ、御指南を願ひたく遙々罷り出ましてございます、どうぞよろしくお取次を……』○『少時お控下さい……』と奧へ入り取次の外から○『先生』新『何だ』○『只今常州佐竹の家來だと名乘つて若いお武家が參りまして先生に御指南を受けたいと申して參りましたが如何いたしませう』新『そうかそれは遠方から奇特なことだ、道場へお通し申せ、疎忽なきやうに……』○『ハッ』出て來た門人○『何卒こちらへ』長『御免』水を貰つて足を洗ひ袴の括りを解き、一刀を提げて案内に隨つて奧へ通る。來て見て驚いたのは道場の廣さ、十二間四方柱なしの大建築、正面には八幡大武神香取鹿島の神號を認めた掛物に造酒を供へ注連繩を引廻し、右手の板壁には門人の名札をズッと掛けてあるが其數三四百人に餘らうといふ大したもの、左右には門人十四五人槍を前へ置いて控へて居ります、長一郎聞しに勝る新十郎の勢ひに感心して中央に坐し門人共に一禮して待つ間程なく正面の神前の傍なる襖を明けて立出でましたる龜井新十郎先生、年頃は二十七八、色白く鼻筋通り、眼光凉しく女とも見まほしき美男なれど威あつて猛からず之れが槍を執つて東國中國に並ぶ者なく、鳳凰と稱されるほどの人物であるから新『拙者はお尋ねに預かりました當道場の主、龜井新十郎でござる、承はれば東國より遙々拙者を尋ねて御上りの由、長『申遲れまして失禮、私は佐竹長一郎と申す若者、豫て武道修業の志深く、諸國遍歴いたせし處然るべき良師に出逢はず、然るに圖らず上州坂本にて面晤いたせし武藝者より先生の高名を承はり當時御當所は鳥取と聞いて之れぞ尋ねる良師、押し附けながら參上して御指南に預かり、豫ての素志を達せんと存じ、罷り越しました次第、何卒一手御指南に預かりたく願ひ上げまする』新『イヤ其れは遠方を能くお尋ね下すつた、貴殿の望み通りの武藝の師であるかどうか其儀は受け合はれぬが龜井新十郎存じ寄る限りは御敎へ申すでござらう』と快よく受け合つて呉れました。

七月卅一日 九星

舊六月廿四日己卯 本命六白乾成大安

▲六白 ……▲七赤 ……▲八白 ……▲九紫 ……▲一白 ……▲二黑 ……▲三碧 ……▲四綠 ……▲五黃 ……

八月一日 九星

舊六月二十五日庚辰 本命五黃八方納赤口

最上清酢 日本一 マルカン印

ほまれ味噌

上醬油 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

演藝案内

大正館 本町 電話八七三 七月廿六日より臨時特別大興行 米國ミューチュアル會社傑作 喜活劇『チャプリン番頭』五千呎 ……探偵活劇『覆面騎手』全五巻 ……

黄金館 電話二二六六 七月二十七日より特別大興行 ……天活第一劇『噫踏切番』……『立花三勇士』全四巻 ……『百萬弗の秘密』第九十篇四巻

大好評 連日大入 涼しい事他館の及ばぬ所 **第五百萬弗秘密** **舊劇立花三勇士** **新派噫踏切番** ◇明三十一日祭日畫夜開演◇ **黄金館**

浪花館 三町治二丁目 電話二六〇番 ……

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 七月二十六日より公開 ……

店員募集 一、記帳係 一、外交員 一、洋服裁縫職工 但年齡不問 京城太平通二丁目 富田屋商店 絨部 洋服部 電話七三二番

下痢 くだりはら 腹痛に 登錄商標 **健胃固腸丸** 直ぐ持ち氣良く止り腸胃を强健にす 藥價 三拾粒入 五錢 七十粒入 拾錢 二百粒入 貳拾錢 四百粒入 參拾錢 一千三百粒入 壹圓 ▲服用し易き小粒健胃固腸丸あり ▲兒童用の小兒固腸丸もあり ○各地藥店に販賣す 本舖 大阪伏見町堺筋角 谷田春堂

藥草 淫羊藿エキス 定價 二十五入 金壹圓 三十五入 金壹圓五十錢 四十五入 金壹圓九十錢 五十五入 金貳圓三十錢 送料 鮮内 一錢 鮮外 三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありこ支那朝鮮兩國人に愛用せられしが産出地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すこて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將亦精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書によりて其の効能の顯著なるは明白なりと雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

主治 一、神經衰弱症 一、貧血病 一、胃腸病 一、腦病 一、腎臟病 一、生殖器病 一、リウマチス 一、ヒステリー 一、ヒポコンデリー 一、老衰 一、精力減退

一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす 二、思考判斷及記憶力の減耗を挽回す 三、諸病後の疲勞を恢復す 四、安眠し亦眼の疲れを癒す 五、筋骨の疼痛を去し又疲勞を恢復す 六、消化及便通を良くす 七、産前産後及病後の衰弱に良し 八、血の道氣鬱症に良し 九、子なき人に良し 十、貧血虛弱を癒し營養を良くす 十一、手足腰腿の冷ゆるに良し 十二、腎臟萎縮及子宮病に良し 十三、痔瘻に良し 十四、長壽なるべし

服法及服量 一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す

注意 空腹の時飲用するを良しとす。エキスは香氣苦味を保有する故酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くとも一ヶ月以上御繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ヶ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金(京城日報代理部振替京城三〇〇番)へ拂込み通信欄にて御注文の事)にて申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損こ相成可申候

▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候 ▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番構内十八番 振替京城三〇〇番

京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

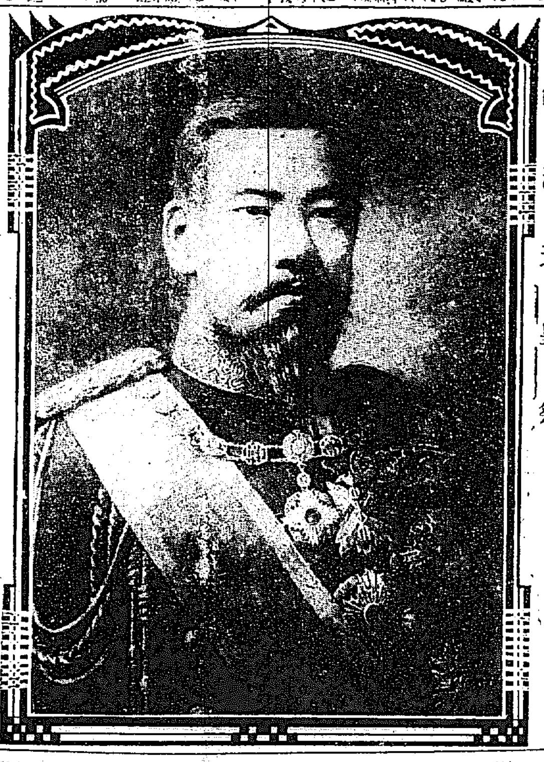
京城日報
廣告料金 五號十五字詰一行壹圓五拾錢 同特別二圓▲三號七字詰同二圓▲四號九字詰同二圓▲六號十七字詰一圓五十錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局六〇九番 一六〇九番 二六〇九番 三六〇九番 四
振替京城三〇〇番

獨潜艇の跳梁 米國は介意せず

最近獨艇の攻撃頻々たるは外電所報の如く即ち米國巡洋艦サンヂァゴは二十日紐育州ファイヤ島を距る十哩の沖にて獨逸潜水艇の發射せる水雷或は機械水雷の爲めに撃沈せられ[illegible]二十一日マサチユセッツ州ケープコッド沖に獨逸潜水艇現はれ曳船一隻傳馬船四隻を攻撃したり又去る十七日大西洋にて英國キユナード汽船會社の汽船カーパシャ(一萬三千噸)は敵の水雷に觸れて沈沒したり殊にサンヂァゴの沈沒したる紐育より英國に至る航路は六月中二回まで獨逸潜水艇の跳梁したる所にして想ふに獨逸の企圖は潜水艇を以て大西洋の海上を脅かし米國軍隊並に物資の輸送を妨害し蹉跌に打撃を與へんとするにあるべく今後も尚屢々米國沿岸を脅かすならんか而して今回襲來の敵艦は六月初旬紐育港外に現はれ十數隻の船舶を撃沈し去れる巡洋潜水艇と同型のものの如く尤も紐育港外に出現したる潜水艇は本國に歸航したる筈なれば更に他に新なるものなるべし之れに北米海面にありたる機械水雷は之れが敷設を專門とする潜水艇も加はり居るものの如し然も米國の海上武力は之等獨艇の跳梁にも拘らず依然として米國と歐洲との連絡を絶たるゝが如き爾來のものに非ず米國巡洋艦及び運送船事務官アルバート、グレーフス提督は先に『米國は幾十萬の人員を歐洲戰場に輸送せるに一隻の運送船を喪失せるに過ぎず』と述べしが其後十數隻の被害ありたるも米國の船舶數より云へば九牛の一毛のみ然も上院議員イークス氏の言によれば本年一月以來米國が獨逸潜水艇を擊沈したる數は二十八隻に達し被害數を超ゆ是れ獨逸の大西洋に於ける潜水艇戰の失敗を示すものなり尚先に獨艇が米國沿岸に現はれたる際大到軍隊輸送船少の一隻は將に出帆せんとする際なりしを以て潜水艇の所在明かなるまで其出帆を延ばす可しとの議論もありたれど獨艇恐るゝに足らずと遂に出帆を一分も延期せざりし事あるが獨逸今回の企圖に對しても亦米國は何等介意する所なきが如し左れば獨艇が如何に跳梁するとも米國は毫も海上連絡を脅かされ軍隊並に物資の輸送上打擊を受くるが如きことなきのみならず却つて其强大なる海上武力を發揮して獨艇に致命的大打擊を加ふべしと觀測せられつゝあり

歐洲より歸りて(七)
於化業家修養講話會
河野醫官講演

歐洲から日本へ歸るには西班牙航路の外には前に申した三航路があるが、之こて絶對に安全と云ふ譯には行かず、危險は伴なつて居る第一は阿弗利加迂回線第二は英吉[illegible]安全とは云へない、第三は佛蘭西、亞米利加線であるが、此の線は比較的最も安全こいはれて居たのである、戰時の今日であるから各國とも國境檢査は頗る嚴重で私人としての旅行は目下甚だ不便であり、且つ手數である我々は其の點では餘程便宜を得た譯であるが、亞米利加上陸の際は却々嚴重に旅行劵から何まで一切調べる我々の乘つた船も亞米利加では嚴重に調べられた、船は晝の十二時半に著いたが檢査は六時過になつても濟まない。恰度晝の十二時頃に檢査があるから列をつくれと言ふ、我々も列に入つたが六時になつても濟まない夫迄立ちづくめなのだからやり切れない夕方になると檢査する役人丈けが飯を食ふからとて食堂に入つて了ひ乘客は飯も食はずぽかんとして檢查官の食事の濟むのを待つて居ると云ふ樣な次第で、何でも夜の十時頃迄かゝつて濟ませるのだと言つて居た、然しそれは困るから我々は一つ談判して見ようと我々は日本政府の命を受けて旅行して居る者であるが、どうか早く上陸の出來る樣特別に取計らつて貰へまいかと頼んだ所夫なら宜しいと先に檢査を濟まして吳れたのでやつと上陸し得た。[illegible]むは人情こんな事で[illegible]めば宜かつたにと思つ[illegible]に角有難いと思ふた他の[illegible]餘り待たせるのでぶつぶつ不平を言うて居つた樣である。米國目下の緊張した狀態杯を[illegible]るのは面白い事であると思[illegible]と時間もなし、又私共にはよく分りもしませぬから申述ませぬ何[illegible]申述て置きたいのは國境閉鎖が時々あつて交通が杜絶する事である例へば佛蘭西と瑞西の國境或は伊太利と瑞西の境が閉鎖されると一週間乃至一箇月も交通が杜絶し汽車が通じない閉鎖の時は旅行中でも旅行が出來ず、大いに當惑する而かも斯かる事は近來屢々ある、先刻特に中立國の食料に窮して居る事を御話したのは、少しく考へがあつての事であります。我國は極東に國を興し天然の地理宜しい爲に未だ嘗て他から壓迫を受けて居らない、而して國運は駸々として進み物資は豐富にして缺乏の困苦に遭遇せず爲に食糧問題などに就ては餘り研究が積んで居らぬ樣に思はれる、日露戰爭は國運を賭したる大戰爭であつたけれども食料には困窮しなかつた。我國は海產物は頗る豐富で世界有數のものであるし、其他穀物野菜等何れも豐富であるが將來の戰爭に於ては決してさうは行くまいと思はれます。此點に就ては歐洲大戰は良き教訓を我々に與へて居るものであつて、今日から徹底的に調査を爲し一方國民は生活上に大いに眞面目であらねばならぬのである。近頃成金が跋扈して我儘勝手をすると慨慨して居る人もあるが、跋扈するのは不都合であるけれども、跋扈させるのも亦不都合だと言はねばならぬ。今日の青年は須らく其の意思を鞏固にし世の惡風に染まない樣に自省自勵するの時期であると考へる特に今回の戰爭に於て一國獨立の基礎を自作自給の上に置かねばならぬとの主張が盛んであるが、是は單に物質的問題のみにあらずして、精神方面に係はる問題でもあるから、世の爲政者道德家宗教家たるものは大いに之を研究し啓發して方策如何を論究すべき時期なりと信ずる、尙ほ種々感じた點もあるが時間も無いので、此の位にして置きます。以上取止めもない事を申述べて甚だ恐縮でありましたが、之を以て御免を蒙ります(完)


明治天皇祭

書道の話(七)
今關天彭氏談

蕭子雲

蕭子雲書、如上林春花、遠近瞻望、無處不發。

六朝の末期に當つて智永が出ました。この人は王羲之七代の孫で、書道の關係は、晉を祖こし唐を子こすると云はれる程で、六朝から唐へ推し移る時の大關鍵であります。その筆蹟こしては眞草千字文があります。これから書道の黃金時代こも云ふべき唐こなります。唐は六朝以來書道流行の頂點であるのみならず、書を好む太宗、玄宗のやうな帝王が出ましたから、一層その流行を見たのであります。この時代に始めて書學を設けて、書を以て人を登用する路を開いた。またこの時代に始めて今の楷書が公然こして通用文字こなつた。か[illegible]う大家でありますから、書界に於ては人材が彬彬こして輩出致しました。先づ初唐に所謂貞觀の四家があります。即ち歐陽詢、虞世南、褚遂良、薛稷の四人であります。

歐陽詢

歐陽詢書、如虎餓而愈健、

この人は荻之から出て、八體の書悉く能くせざるなしこ云はれて居りますが、今に至るまで尊ばれて居るのは楷書であつて、九成宮醴泉銘と化度寺碑が特に名高いものであります。

虞世南

虞世南書、如白鶴翔雲、人仰丹頂、

この人は智永に從つて羲之の筆法を受け、太宗の書法の師こなりました。その筆蹟には、夫子廟堂碑こ如南公主墓誌などが名高いものです。

褚遂良

褚遂良書、如孔雀皈佛、花散金屏、

この人は虞世南の書を學んだのでありますが、書は實に見事なものでその雁塔聖教序は、唐代の書法を示した唯一のものであると云ふ評判であります。

□御尊影に就て

明治大帝の御眞影と云ふものは極めて尠く宮內省にも僅に御幼時の御姿と御立像と肋骨付の陸軍服を召されたる御全身の分と大演習の砌御撮影申上げた御野立の分がある許り各官廳學校等に御眞影として下賜せられた陸軍正裝のは印刷局技師で伊太利人故エドアルド、キヨソネ氏が永い日子を費やして謹寫した原畫を撮影したものだと承はる本日の本紙に奉掲した御尊影は洋畫家高木背水氏が宮內省の下命に從ひ同省所藏の御眞影及び御銅像模型を參考とし侍從長香[illegible]め常侍の局の談話を基礎として謹寫したものであるが常侍の局の批評では日露戰前の御英姿其儘だと云ふ事である

並行線 (四十二)
瀧閑村

『さう云はれると其處もあるが……何だか俺の犧牲になつて貰ふやうで氣の毒に思ふ』一生の大事だから……』

『そんな事は無いのです、』ぢやあ一つ先方へ話して下さい。』

『それは好いとも』江藤も嘸喜ぶだらう。』

『どうぞ願ひます、で、』さうする位なら式は簡單に成るべく早い方がいゝぢやありませんか。』

『よし、それも話さう。まアゆつくりおし、茶でも入れよう。』

兄に別れて歸る途に、借りた醉はすツかり醒めて寂寥の苦い味のみが胸に殘つた。

水のやうな月が照つてる空を見上げ乍ら宣太郞は力無く歩行いた。

『一體俺は是からどうすると云ふんだ!』

宣太郞はパッと唾を吐いた。

『畜生!』と喚鳴ると、行違つた職人は足を停めた。

『何だと』と見返つたが、宣太郞はそんな事は耳に入らぬ樣でズンズン歩行いて行つた。

『待て待て野郎、逃げやがるな』

それでも宣太郞は歩行を停めないので、職人も握つた拳の力も拔けて

『チョッ狂人か』と云つて棄てゝ行つてしまつた。

宣太郞の頭の中には今日の西行の列車の光景が激しい渦を卷いて幾度も寄せて來た。

『處もあらうに俺の居る靜岡を白晝通過するとは餘りに俺を蹂躙した仕方だ。俺に流した涙が眞實か高山に捧げる笑が眞實か、貞操が幾つあるのだ、賣笑婦め!』

罵つても誰も答へるものは無かつた。却つて自分の傷へ觸れるやうにキリキリ痛みを齎すばかりだ淋しい、淋しい。

『自分一人が棄てられたのだ』と思ふと限り無く淋しかつた。無性に赤い灯が戀しかつた、

宣太郞は灯の多い、賑やかな町を町へと歩行いた。通る女等の姿をそゝる窓、簾の明るい灯や、果物店、草花店の美しい色彩は眼には入るが何の慰めにもならなかつた。

フト心付くと宣太郞は自分をとある活動寫眞館の前に見出した。映畫は西洋物で自動車が疾走したり、汽船が衝突したりした、眩くやうに澤山の人が現はれたり消えたりして、見物の人々は其度毎に喝采した。併し宣太郞には何の意味をも與へなかつた、不快な人いきれと、喧騷とは頭を痛くするのみだ、宣太郞は直に此處をも見棄てた。

町にはゾロゾロと納涼の人々が間斷無く續いた。子を連れた夫婦、女の跡を追ふ青年、胡顏を捏た女共をベルの音高く人力車も過ぎた宣太郞は暫く此人波の中に身を投じて見たが、人は人、自分は自分で此雜沓の群集も遂に自分には何等の交渉も無かつた。

『あ、俺はとうとう獨りになつた此廣い世界にとうとう獨りぼッちになつちまつたのだ。』

としみじみに思つた。

『酒、酒!』と心の裡で叫んだが元來酒を好まない宣太郞は快い醉を買ひ得ないで、醒めた後の淋しさを思ふと、思ひ切つて酒にも突進して行けなかつた。

泣きたいやうな心地で、宣太郞は蹌踉と賑やかな町を歩行いた。

□海に!!山に!!温泉に
避暑旅行の時季と
相成申候
□三越特製の
旅行用具は澤山に
新荷著仕候
鞄、ライチングケース、トランク、毛布卷、ドレシングケース、カラー入、毛布、膝掛、海水着、海水帽、アンチソラチン(日焼止クリーム)、魔法壜、郵便食器等
京城本町 三越吳服店
振替口座京城七七番 電話六〇一二番

魚釣具及網 投賣 卸小賣
烏賊用カスミ網各種あり 御申越次第定價表進呈
京城永樂町貳丁目 吉備商會
電話三一一四番 振替京城四三二八番

新刊上卷出來
東北帝國大學理科大學教授 理學博士 日下部四郎太先生著
物理學汎論
菊版全貳冊精巧圖八百餘 上卷正價四圓八拾錢 送料廿四錢
精密科學の基礎智識は其根柢を物理學の考究に留めざるべからず。殊にレット及ギュッセの College physics あり、と雖も凡百科學の根本智識に資するに未だし。著者之に觀る所あり、東北大學の懸案たる綜合大學の精神に基きたらしめんと欲し、物理學、數學、化學、地質學科等に共通する教科參考書りたる論說を集めて極力詳解せり、所論精確、叙述整正、眞に斯學界空前の大著たり。請ふ一般科學研究者の精讀あらんことを。

新刊大增補出來
增稿改版三版
東京帝國大學農科大學教授 理學博士 池野成一郎先生著
植物系統學
大判洋裝精圖三百著色圖版五葉 上卷金貳圓五拾錢 送料廿四錢
本書は斯學の泰斗池野博士が現今最も進步せる植物系統學を記述す。この著は博士多年の心血を傾注せる大著にして初版以來斯界唯一の權威たりしが、今回更に三版を刊するに當り新に研究を加へ補足を施す。殊にメンデル法則及メンデル式遺傳に於ける分類の新説等に依り新性質を公刊するに至る。精細なる圖版多く印刷の鮮明、叙述の明快、眞に本邦斯學界に誇示するに足る。請ふ一讀を吝む勿れ。
發行所 東京市日本橋區本町 電話本局千壹七 振替東京一五七三番 裳華房
賣捌 京城本町 電話六八四番 振替一〇八六番 大阪屋號

北海道煉乳株式會社
特約大販賣
京城本町 龜屋商店 電話二十四 七十五

◀改良モルタル製▶
屋根瓦と壁張瓦製造販賣
改良モルタル瓦製造販賣
本瓦は建築界の進歩に伴ひ幾多研究の結果考案せし者にて家屋の外觀頗る美術的なる
本瓦は硬化劑を配合して製造せしものなるを以て頗る堅牢なり
本瓦は耐寒、耐暑、防火、防水力完全なるを以て永久的使用に耐へ眞に理想的也
本瓦は著色御注文に應じ殊に輕量にして汲水少く木材を節約し得る爲に低廉也
本瓦は年數を經るに從ひ硬化し使用後十年以內に雨漏りせし時は無料にて直す
本瓦は壹坪四拾枚葺にして附屬道具もの完備せり
……家屋建築設計に應ず……
工場 新龍山漢江通り(電話一四四)
特約店 新龍山漢江通(電話五七) 櫻井商店
京城西小門町(電話九四一・三二〇八番) 苫米地商店 振替京城五三番

本多日生師著
日蓮聖人正傳
本書は、最も確實なる史蹟に據り、聖人一代の經歷と主張とを詳敍す。特に聖人の主要たる著作に對しては一一その內容を紹介し、又時代の背景たる承久の亂と蒙古來とに關しては、正確なる史實に徵して之を記述し、又後人の添加せる怪誕不稽の記事は悉く之を刪却せり。聖人を敬慕する家庭、修養の力と思想の光とを得んとする人は、速に一本を備へらるべし。
中判洋布上製 四百七十有餘頁 壹圓六拾錢 郵稅八錢

杉山茂丸君著
兒玉大將傳
山縣元帥題歌 寺內首相題句 後藤外相題字 卷頭彩色石版二葉
近世の大偉人兒玉大將傳は多年大將の昵近たりし杉山先生の筆によりて出づ。此書大將の生立より波瀾重疊の生涯を經て其終焉に至る迄、其の品性・志行・抱負等を敍して微を穿ち隱を闡く。特に臺灣統治の如き日露戰役の如き國家至難の問題に接して偉功を奏したる大人格の風丰宛として紙上に躍動す。世に傳記多しと雖も斯く興味饒かに活教訓を語り而も生氣の潑剌たるは無からん。
中判洋裝 四百六十有餘頁 壹圓 郵稅八錢

醫學博士 理學博士 松下禎二君著
衞生百話
長壽を希ふは人情の常であるが多くは衞生の道を知らず徒らに周章狼狽して死期を早める人のあるのは洵に氣の毒の次第である。此書は博士の創見に係る天壽二百年を保つべき衞生法を親切に說き卑近な興味深き例話を以て面白く讀ませ不知不識の間に長壽の秘訣を覺る樣に書いてある。殊に附錄の料理法は大學者の顧慮した手輕に出來る珍品二百種で、眞に萬人必讀の大寶典である。
中判洋布上製 四百五十頁 壹圓五拾錢 郵稅八錢

大橋渉君著
愛する子の爲に
文學博士 澤柳政太郞君推奬 督學官 槇山榮次君讃辭
世に子を愛せざる親ありや、世に人の子を愛せざる教師ありや、而も愛すべくして眞に克く愛し得るの三昧に達したる者果して幾何ありや。著者は兒童教育に從ふこと茲に十有六年、常に寢食を忘れて子弟の愛養誘掖に盡瘁せらる。此書は即ち其精神的研究の成果にして、眞に子弟を愛し得るの道を力說したるもの、父母讀むべく教師讀むべく萬人等しく讀むべき良書也。
大判和裝上製 貳百八十頁 八拾五錢

東京市日本橋區本町 博文館發行 振替貯金口座東京二四〇番

◇西伯利出兵問題 正式回答如何

西伯利出兵問題に關する○○よりの正式の回答は未著なるも我社の探る方面より探聞する處に據れば是に對する○○の意嚮は不幸にして我政府の提議の全部を承認せず即ち第一の○○出兵は全部承認するも他の方面に對する派兵は其の必要無く他日形勢の變化と共に協議す可しと云ふにあり、○○の決心頗る堅しと謂ふ、果して然らば是れ由々敷大問題にして現内閣の體面は勿論我帝國の體面に關する大事にして政府は○○の不承認に拘はらず飽迄其の初心を貫く可きか、將又○○の意に迎合す可きか是れ現内閣の運命を定むる一大問題にして初心を曲げんか現内閣の責任如何是を斷行せんか外交の危機來る、帝國愈々多事なり、因に○○の回答は二十八日より二十九日にかけて斷續的に來ると傳ふる者あるも右は未だ正式回答には非ず（東京特電）

◇外交重要問題 凝議

後藤外相は二十九日午後一時三十五分寺内首相を其官邸に訪問し外交上重要問題に關し長時間凝議する所ありたるが○○の回答正式ならざるも到着せりと風說せらるゝ際とて其會談の内容は揣摩されて形勢穩かならざるなり（東京特電）

◇太平洋國際商議設立

外國貿易俱樂部は太平洋國際商業會議所設立の計畫あり其範圍は日本、支那、海峽植民地、西伯利、南米、濠太利洲等を含み各國間の親善を期すと（シヤトル電報）

◇米輸出特許撤廢

米國戰時通商局は輸入制限品目中家財製造用のリードを追加し現在の各輸出特許は八月五日限り撤廢する旨布告せり（華盛頓電報）

◇米砂糖使用制限

米國食糧管理局は軍事上の緊急に應ずる爲め砂糖使用量を一名毎月二封度と爲さん事を國民一般に要求せり（華盛頓電報）

◇地方官優遇 來年度豫算編成

内務省にては來年度豫算編成に當り地方官優遇增俸を斷行する事に決定し道長官、府縣知事、内務部長、警察部長以下各地方官の增俸約百萬圓を計上せる外主なる新事業大體左記の如し
北海道拓殖費補助增加二百五十萬圓、救濟局新設費額未定、精神病者看護法案實施に要する國庫補助約四十萬圓、各府縣に勸業部學問部新設費用額未定、東京、橫濱、大阪、神戸間道路擴張案補助額明年度分七十萬圓其他也

□天皇陛下に信任狀捧呈

新任駐日佛國大使ドラホネー氏は二十九日午前九時四十分參内陛下に信任狀を捧呈し同十時退出せり（東京特電）

◇拓殖調査會

二十九日午前九時より内閣會議室にて拓殖調査會を開き小橋内務次官、有松法制局長官、立花拓殖次長、新渡戶博士等特別委員出席滿蒙に於ける緬羊、馬匹の改良繁殖に關して討議し前會主査會の決定の如く可決し午後十時半散會せり（東京特電）

◇白井八師團長

白井第八師團長は二十八日哈爾賓丸にて大連渡赴任の途に就けり（大連特電）

◇金久保中將著任

新任金久保旅順要塞司令官は二十九日著任せり（大連特電）

◇三浦技師通過

農商務省技師三浦政次郎氏は二十九日朝釜山午前十一時發列車にて北行せり（釜山特電）

◎留佛救濟至難 對露軍需品代

我民間當業者より露國に賣却せる軍需品は露國政府の直接購入たると否とを問はず其の總額約一億二千萬圓の多額に上り居れるが其の中政府へ直接賣却のもの、中間挪借りとなり臨時國庫證券を發行して決濟したるが其殘額のルーブル及び保存中のもの約五千萬圓に就ても我政府當局が或る時期に於いて均しく救濟の途を講ずべしとの說あるも之れに對する大藏當局の意嚮は既決の六千八百萬圓は直接政府に買付けしものにして之れが塡補の方法としては正金銀行に露國の預金五千八百萬圓ありて政府に於いても多額の缺損なきを見込みあるがために之れを決行せしものなるもルーブル挪は奈何せん目下市場の時價は百分の二十強に過ぎず此の換算に基いての決濟ならば或は又考慮の餘地なきに非ざるも尠くも救濟の名稱を附して政府が之れに指を染むるに於いては當事者に於いて多少の有難味なかるべからざると故此の意味よりして救濟手段を採るに至らば其の差額數千萬圓の巨額に達する譯なれば世上傳ふるが如きことは到底事實に於て實現すべきと至難なるべしと（東京）

◎京畿地方財況

[illegible]

◎本邦產鐵狀況 朝鮮十四萬餘噸

農商務省鑛山局の調査に係る昨大正六年中の本邦鐵鑛產出額は內地二十二萬九千四百五十七噸朝鮮十四萬六百五十三噸合計三十七萬百十噸にして別に砂鐵三萬四千三十五噸なり之を各鑛山別に示せば左の如し（單位佛噸）

釜石鑛山	一四○、四三	虻田鑛山	[illegible]
仙人鑛山	六、壼	栗木鑛山	[illegible]
朝鮮	一四○、六三	合計	[illegible]

次に同年中に於ける鐵鑛輸入額は四十一萬七千七百八十八佛噸にして之に對する銑鐵四十八萬九千二百五十二佛噸合金銑產出額は鐵鉢一萬二千百五十佛噸合計五十萬千四百二佛噸なり又鋼鐵產出額は七十七萬三千百三十二佛噸鋼材の產額は五十二萬九千六百十四噸にて內譯を示せば左の如し（單位佛噸）

▲鋼鐵內譯

平爐及轉爐鋼	[illegible]	電氣爐鋼	[illegible]
坩堝鑄鋼	[illegible]	其の他	[illegible]
合計	[illegible]		

▲鋼材內譯

鋼片	[illegible]	條鋼	[illegible]
形鋼	[illegible]	板鋼	[illegible]
鋼管	[illegible]	軌條	[illegible]
線材	[illegible]	其他	[illegible]
鍛鋼品	[illegible]	鑄鋼品	[illegible]
特殊鋼材	[illegible]	合計	[illegible]

尙同年中の鐵鋼輸入額は九十七萬七千六百十八佛噸價格二億二千六十六萬四千七百三十三圓にして同輸出額は四千八百二佛噸價格百九十九萬千九百八圓なり（東京）

◎電燈値上問題 各會社の態度

石炭其他諸材料の暴騰に伴ふ電燈料金値上問題に對する朝鮮各地電燈會社の態度を見るに逸早く釜山瓦斯電氣會社は一割五分の値上を當局に申請し既に許可せられしは獨り木浦電燈會社のみにして目下値上を申請し當局に於て詮議中のものは京城電氣會社及び同社經營の仁川馬山鎭海の三社及び濟州水原新義州の各電燈會社なるが孰れも約料金一割の値上を申請し居れり而して此際本問題に對する態度を鮮明し斷じて値上をなさずと聲明せるは平壤、元山、新安州、清津、羅南、群山、大田の七社にて今猶態度不明なるは大邱、釜山、光州、咸興、鎭南浦、開城、公州等なるが之等の各社は多分値上を行はざる事となるべしと尙前記一割五分の値上げ許可せられたる木浦電燈會社は使用石炭の需給關係朝鮮隨一の不利なる立場にあり內地炭撫順炭の論なく輸送賃金割高にて從來噸十八圓のものを使用せるを以て配當の如きも五分內外に過ぎず從つて今次の値上に對しては當局に於ても事情已むを得ざるものと認め許可の指令を與へたるものなりと

◎在米不足か 朝鮮米の連騰

京城正米は連日昂騰しつゝあるが廿九日の出來値は日本種玄米二十七圓五十錢朝鮮種二十六圓を示し未曾有の高値にして之れを二十七日に比し各一圓二十錢方六七日前の最高値に比し五十錢方の昂騰を示せるが其の主因は在米不足と米價の暴騰に伴ふ釜山並に仁川方面の米價の買附けを京城方面に坐する如しと尙鮮內在米の多少に就ては各種の觀測あり銀行側にてはその各銀行の米作貸出により推察して未だ在米相當の量に達し居るべしと稱しつゝあるも果して然らば昨今の如き好値に際せば相當出廻りを見ざる可からざるにその事なきは地方在米の缺乏を語るものに非ざるか若し朝鮮在米缺乏せりとせば尙新米の出廻り期までに三四箇月を餘し居る關係上若干の高値出現は免れ難かるべく小賣白米三十五圓唱へも遠からざるべきかとも唱へられつゝあり唯本年の米作は降雨適順なるため一部に水害の厄を蒙れる地方あれど大體に於て豐收なりとの見解立ち居り旁々堅礎に高騰のみは續けざるべきか

◎鮮銀北支々店

朝鮮銀行の天津及び濟南兩支店の設置に就ては右兩地が滿洲各地等と異なり純然たる我勢力範圍にあらざる事の關係上寧ろ外務大藏兩省に對し關係事項に付交涉中の由にてその方終了せば鮮銀に總裁より支店設置命令を發するに至るべしと

◎滿洲產橫航經由 敦賀及浦鹽行貨物

滿洲產にて日本海橫斷航路開始後去六月迄同航路を利用し元山港を通過し內地敦賀及び浦鹽に仕向けたるもの及び支那山東省產にて芝罘より海路仁川を經由し仁川より浦鹽經由元山に運搬し更に同地上に仕向けたる貨物の數量及び價格を聞くに內地向けに於て大豆二百五十石三千四圓小豆百六十石二千七百四圓木材一萬九千二百二十四斤二百九十八圓大豆粕四百九十一萬一萬一千斤二十五萬二百八十九圓糠七萬二千四百斤九百四十六圓稗十一萬三千九百斤五千六百七十三圓鮭十二萬斤四千九百圓價額合計二十六萬七千八百十八圓にして浦鹽仕向は落花生一萬五千斤二千二百十四圓食鹽十二萬斤四千八百十圓雜貨七百五十斤百五十圓綿布七千五百四十斤二千三百十圓陶器一千九百斤百三十九本價額合計三千六百二十圓なりと

◎府貢稅改正注意

京城府廳にては二十九日午後一時より西大門小學校に煙草賣買業者を招き八月一日より製造煙草消費稅令改正に伴ふ販賣業者の注意すべき事項に關し講演及び質議に對し應答する處ありたりと

◎鑛業登錄（自七月十八日至同二十日）

▲鑛業權設定

金　忠清南道洪城郡結城面　四十二萬五千五百一坪　[illegible]
鐵　慶尚北道醴泉郡[illegible]　三十二萬二千三百坪　[illegible]
金　平安南道順川郡[illegible]面　五十八萬七千六百坪　[illegible]
黑鉛　同楚山郡松面　十七萬六千二百三十坪　柴田次郎平
金銀鑛　同熙川郡南面　五十八萬三千三百六十二坪　[illegible]
タングステン鑛　平安北道昌城郡[illegible]面　十八萬五千五百八十六坪　[illegible]
金　江原道洪川郡乃村面　二十萬三千四百一坪　林德根、波多與一、李敬南
タングステン鑛　京畿道始興郡秀東面　[illegible]
金　忠清南道洪城郡洪東面　十七萬八千四百十二坪　[illegible]
同　同銀河面　二十四萬二千五百坪　[illegible]
銀鉛鑛　慶尙北道清松郡縣東面　五十一萬五千五坪　[illegible]
石炭　平安南道孟山郡玉泉面　五十七萬三千三百九十三坪　[illegible]
砂金　平安北道泰川郡[illegible]面　一里三十五町二十間　[illegible]

▲鑛業權移轉
黃海道海州郡東江面海南面　[illegible]
忠清北道忠州郡[illegible]面　[illegible]

▲鑛業權表示更正
金銀鑛　慶尙北道[illegible]郡[illegible]面　[illegible]

◎國境上半貿易

本年一月より六月に至る上半期國境貿易額は輸出四十七萬八千七百五十六圓輸入七十二萬五千七百八十八圓計百二十萬四千四百四十四圓にして六年同期に比し約倍加せるが之れ輸出に於ては粗布類其他の雜貨輸出盛んなりし事輸入に於ては穀類及び木材等の旺盛なりしに原因せり（清津）

◎手形回收高

朝鮮銀行にて回收に努めつゝある鮮內挪出小額手形の殘高は目下の所三十二萬圓にして約半額に過ぎず尙京城地方にては手形の影を概ね減せしに付地方の流通多かるべきが夫等の引上は地方銀行並に金融組合にて努力しつゝあるも進捗鈍き觀あり但し九月の納稅期には回收捗るに至るべしとの事なり

◎國境農作物狀況

咸北道北部國境地方は本春來の降雨にて農作物の發育何れも不良なるが殊に主作物たる粟は非常に不良にして今後天候恢復するも到底挽回すべきに非ず平年より不作は免れざるべく又大麥は粟程にあらざるも平年以上には行かざるべく尙は本年國境方面の白頭元栽培は非常に盛んにして昨年の三倍乃至五倍する有樣なるが同作物は今日の所にては生育良好なりと

◎運搬貸切貨物扱

鐵道局線內を貸し切り扱ひとして運帶の取扱ひをなすべき貨物噸數は來る八月一日より改正實施せらるゝを以て滿鐵京城管理局にても其の取扱ひをなすべしと

◎警官間島派遣期

既報の如く今回間島領事館警察擴張の結果朝鮮より警察官を派遣の件は目下其筋に於て人選中なるが右は各道より選拔し來月初旬派遣すべし

◎講習所卒業生講習會

臨時教員養成所卒業生講習會は京城高等普通學校內に於て向ふ一箇月の豫定を以て去る二十五日より開會せり

◎東亞記者招宴

東亞煙草會社の京城記者團招待宴は廿九日夜千代本に於て催されたるが席定まるや黑部支店長の挨拶に次いで記者團を代表して牧山氏の謝辭あり盛會散會せり

◎吉田博士著期

東京帝國大學教授文學博士吉田熊次氏は八月十二日より京城中學校に於て開會さるゝ公立小學校公立普通學校教員講習會に於ける講演のため[illegible]

◇蘭貢米輸出中止 我が買附契約は畧ば實行濟み

英國政府は蘭貢に於て蘭貢米輸出許可一時中止の問題を生じたるは事實なるが、外米管理部の發表に據れば、差當り買附契約は略實行濟なるを以て影響無かる可く將來の爲に交涉中にて其中止は輸出餘力調査の爲なりと言へば近日中圓滿なる解決を見る可し（東京特電）

◇雷州南軍降服

陳炳焜、陳光遠、劉志陸、劉葉亭討伐司令官よりの公報に據れば各軍は雷州を死守せる敵軍に對し降服の勸告を爲し七月二十日來談判中なりしが體面保全、給料二月分を支給の條件にて遂に降服し討伐軍の面目を保れたり（北京特電）

◎高橋少將發期

總督府附武官より滿鮮要塞司令官に榮轉せる高橋陸軍少將は來月十日頃赴任の途に就く豫定なりと

◎服部大佐の送別宴

平壤官民有志は廿九日七星館に於て元平安南道警務部長服部大佐送別の宴を開けるが盛會を極めたり因に服部大佐は八月一日午前一時三十九分平壤發列車にて郷里三重縣に向け出發の筈也（平壤電話）

◎阿部充家氏家族

前京城日報社長阿部充家氏の家族は卅日南大門驛出發歸東の途に就く筈なりしも天候不順のため延期せりと

人事消息

▲天王寺中學生入京　一行廿八名鮮滿修學旅行の爲廿八日安東より入京
▲神保小虎氏（東京帝大理科大學教授）廿九日夜大邱より歸京浦尾へ
▲中原東太郎氏（久原鑛業社員）同上巴城へ
▲目加田八十吉氏（在支那鑛業家）同上山木へ
▲柴本龍三氏（平壤丸吉商會主）同上[illegible]へ

鳥瞰雜俎

再遊潮岩屋東楽帝見寄　天彭
柴門無復一人來、唯有陶花大笑開、揮掉午涼起何處、近灑叢竹碧干苔。故人昨夜寄書來、滿紙雲烟消涸盡、悲哀吟魂揺不已。[illegible]

◎西部戰線依然强剛なる佛軍善戰して退却止を得ざりしに見ば[illegible]然ごも之を以て未だ大勢の決勝[illegible]
◎農商務省にては米價調節の根本策として耕地擴張計畫を目論むと[illegible]
◎耕地擴張も可ならん然ども先づ農村保護が急務農村の疲弊を見よ
◎佛國の如き今回の大戰にて農產物收穫の急を感じ耕作法改良に[illegible]

□定例休刊

三十日は明治天皇祭に就き同日發行の夕刊（即ち三十一日發行の朝刊）は定例休刊す但し其の間重要事件突發せば號外を以て報道すべし

京日案內

▲子供入用　十五歲より十七歲迄のもの二名　南大門通二丁目　吉野商會
▲代診及藥局生　看護婦及見習急募集す希望者本人來院の事　仁川　佐藤病院

女事務員入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　京城本町一丁目　平田商店

禁酒　京城府　近藤與平

簿記係壹名　希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ　京城蓬萊町一ノ九〇番　平田運送店

有給外交員募集　採用す希望の者は午後十一時頃來社あれ委細面談　黃金町十八銀行内　日本生命保險出張所

採用　一名　穀物問屋　南大門通り五丁目　齋藤商店

礦物定量分拆　京城南大門一丁目（電長一三四四）　坂元分拆所

恩給　年金立替　公債　京城若草町百六番　西村商會

恩給年金立替　五年半迄　京城若草町一番　國江商會

舊恩給　櫻井町一ノ一九八　博多屋本店

外勤招聘　希望者は履歷書携帶來談あれ　京城黃金町二丁目　共保生命保險株式會社京城出張所

最新刊
ゲーリー式の學校
獨逸を中心に
山獄生　鬼佛師　法花經　稻子方　滑稽の　[illegible]

京城本町　大阪屋號

（大口）質　黃金町長谷川町入口　田村質店　商品擔保貸付

綠蔭讀むべく避暑可携
長篇講談
新刊　鼠小僧次郎吉
木下藤吉郎　赤穗義士　伊達騷動　由井正雪
相馬誠忠錄　羽柴筑前守　天下茶屋　加藤清正
鹽原多助　寬永三馬術　國定忠次　柳生旅日記　豐臣秀吉　柳川庄八　關東七人男　山中鹿之助　堀部安兵衛　榛名の梅ヶ香　二刀の譽　水戶黃門漫遊記
正價四拾錢

繪本稗史小說
第五集　相馬將門總猴譜語　優曇華物語
（壹）繪本三國妖婦傳　松浦佐用媛石魂錄
（貳）道成寺鐘魔記
（參）松風村雨物語　繪本在原草紙　淨瑠璃姫物語
（四）復讐奇談小夜中山
正價各卅八錢

東京本町　博文館

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
財政顧問附　小笠原寬先生序文
法政大學校友　越智唯七
大正七年一月一日現在正誤表附錄クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢
本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

◎人喰獸　▼殘骸を發見せり[illegible]

……て一般に金融業者に取ては寔に……
金の手許に潤澤なる時機にして從つて一般に
◆金融業家の金融は逼迫を感じ居れ……
……して今後八九月に入らば更に激化……に相當高低保證を目的にて……
し毎月二百五十萬圓の巨額に達……
……するを通例とし居れり由來長春地……
◆正銀の銀券を以て計算を通じ……
……の危險を保證せんとし正銀の……
……度も銀六十萬圓內外にて此外定期……過般の

◎滿六年の昔 憶ひ出の今日よ
明治天皇靈御の當日　皇靈殿に於て　今上御親祭

明治大帝の御大患より起ちて內外臣民の神懸けて御平癒遊ばされん事を祈り上げ奉りた甲斐もあらせられず神去りまし〻は七月三十日午前〇時四十三分であつた、右につき今三十日の第六年例祭相當日に宮中皇靈殿並に伏見桃山御陵に於ては いと嚴かな御祭典を行はせらる〻其の御次第を承はるに

◇皇靈殿の儀　當日午前八時掌典部員出仕し御殿の裝飾を奉仕し八時半式部官著床以下皇族、大臣、外交團參列官員、前官禮遇、親任官、大臣禮遇、樞密顧問官、貴族院議長、勳一等旭日桐花大綬章、功一級、正二位、高等官二等、功二級、錦鷄間祗候、麝香間祗候、親任待遇、從一位、勳一等、高等官一等、勅任待遇（大禮服正裝又は通常禮服　女子は通常服又は袿袴）にて參入著床し次で御開扉神饌幣物を供し次に九條掌典長恭しく祝詞を奏し次いで天皇陛下には黃櫨染の御袍にて出御御拜禮次いで各皇族方並に參列諸員の拜禮あり畢つて再び神樂歌の奉奏中に御閉扉幣物神饌を撤し各々退下引續き正午十二時式部官著床御開扉午後一時迄伯子爵以下奏任官、同待遇、神佛各宗派管長、門跡寺院住職午後一時より同二時迄判任官、同待遇の拜禮がある

◇御神樂の儀　斯くて午後五時式部官著床神樂歌の奉奏中に御開扉神饌を供し次に九條掌典長祝詞を奏し畢つて天皇皇后兩陛下御拜禮次に御神樂の御儀あり神饌を撤し御閉扉の筈

◇桃山々陵祭　同日午前八時半陵所を裝飾し次に諸陵頭勅使門外に整列し八時半式部官諸陵頭並に掌典著床奏樂中に神饌を供し次に掌典祝詞を奏し畢つて勅使參進玉串を奉り次で幣物を供し畢つて勅使進んで御祭文を奏し引續き諸員拜禮再び奏樂中に幣物神饌を撤し各退下し御祭典を終らせらる〻由

◎持越煙草を屆け出
罰金又は科料に處せられる
賣稅令改正と販賣業者が注意すべき事

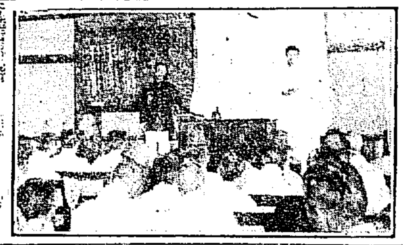
來る八月一日から賣稅令が改正されて朝鮮內に於ける各種の賣が一齊に値上を實行さるべき事に關しては本紙に屢々書いた通りであるが其改正定價は愈々廿九日夜に發表されたのである即ち京城府當局では消費稅其他の關係上

◆一般小賣　業者及び製造業者に對し違反なからしむる事を期し右に關する申告書及び注意書を各關係者に配布して居る筈である其注意事項の要項は次の通りである勿論之は京城府內に關係あるものに對してのみである即ち八月一日から製造賣消費稅は定價の二割五分となり販賣者の手許に於て持越してゐる製造賣に對しては定價の二割五分から既納消費稅（定價の一割）を控除した殘りの即ち

◆一割五分　の稅金を納付しなければならぬことゝなつてゐる即ち之に由つて見ると販賣者の手許に持越してある製造賣に就いては値上しない分は定價の一割五分其上値上げしたものは改正定價と舊定價との差額に對する二割五分の稅金を更に納付しなければならない事になる依つて八月一日に持越した製造賣業者は府から交付された申告書に依つて八月五日迄に臨時開廳せる明治町元漢城病院跡（東亞賣販賣所前）に提出せなければならぬ之を犯したものは罰金又は科料に處せられる筈である、凡そ持越製造賣には指定の封緘章を貼付さるか又は定價改正『スタンプ』の押捺を受くる事を必要とするのであるが此處に所謂封緘章とは定價引上のものは『定價改正封緘章』を、『持越賣封緘章』を貼付するを要する譯で尙ほ定價引上のものは

◆封緘章の　外定價章の貼付を要するのである此の封緘章及び定價章は申告書提出と同時に京城府から交付される筈である、尙鮮內製造賣引上定價は製造業者から決定通知あり定價引上に係る製造賣には封緘章の外該當定價章を貼付することになつてゐる、定價の引上を爲したる外國製造賣等にして其の定價に該當する引上定價章なきものに對しては臨時開廳せる明治町漢城病院跡で『スタンプ』を押捺する筈に付申告書に現品を添へて前記の場所に持參しなければならない。多量の

◆定價引上　製造賣を所持する者は府廳の承認を受け賣製造場に搬入するか又は府の承認を受けたる場所で『スタンプ』の押捺を受くることが出來る而して消費稅額に相當する擔保（金錢又は有價證券）を提供したる時は三箇月以內に消費稅徵收の猶豫を受くることが出來るのである以上は注意すべき事項の要點であるが總て稅金は納稅告知書受領後直ちに納付するを要する者であるが故に豫め相當準備して置く方が得策だらうと云ふことである其他稅令改正の要點は別項記載の通りである。


◇賣稅令の講演（二十九日西大門小學にて）

奉天醫學堂の戶谷新醫學博士

◎旅順監獄囚人 十一名破獄を企つ
帶劍を奪つて看守に斬付く
囚人二名を銃殺三名重傷を負ひ看守三名重輕傷を負ふ

廿八日午後三時旅順監獄看守安西、長信與看守川村喜造は支那人強盜殺人其他重懲役囚十一名を入浴せしめたるに囚人等は突然安西を毆打し脫走を企て應援に向ひたる小藤看守の帶劍を奪ひ同人の頭に斬付け更に川部看守に斬付け格鬪の末し二名を銃殺にて殺し七名を逮捕し殘り二名は東門を破り山手に逃げ發見しも同夕逮捕せり因に囚人三名重傷生命危篤尙看守三名重輕傷を負へり（大連特電）

◎汽船木浦沖合に遭難 して乘組の上級船員 全部不明となる
神戶岩田商會の所有汽船 榮和丸旅順より神戶へ航行中

神戶岩田商會榮和丸（七二八噸）は旅順より山鹽一〇八〇噸を積込み神戶へ航行中二十六日未明より暴風雨の爲め莞島郡西島の南一浬半の沖合にて激浪甲板より浸入して遂に沈沒せり乘組員二十五名中船長川勝三郎以下の上級船員は全部行方不明なるが舵夫以下の下級船員十名は折柄附近巡邏中の警備船第三副丸にて救助し二十八日夜木浦に收容救護中なり（木浦特電）

◎電話使用度數を圖る
電流計が飛び上つた
丑の日で素敵に忙しかつた 二十九日の京城電話交換局

世の中が多事多端の時は電話局も亦多事多端を極める、打てば響くでも云ふのか兩者の關係は頗る密接である、丑の日の二十九日は休日に挾まれたからでもあらうが京城電話局は素敵に

◆滅法に多忙　を極めた　京城電話局の交換臺は最も最新式のもので加入者が呼出すと小さな番號札が落ちる代りに指頭大の電燈がパッと點る裝置であるが、二十九日はその豆電燈が一交換臺の中に六つも七つも同時に點つた、こんなことは平生は全然ないことで平生は一番忙しい時でも同時に點るのは二つか三つ位だと云ふ

◆加入者側で　最も頻繁に電話を使用したのは總督府である、總督府は全部で二十一個の電話を持つてゐるが、二十九日は二十一個の電話が悉く塞がつた、これも亦平生ないことであるが更に同日如何に電話の使用度數が激烈であつたかは同局に備付けた自働電流計を見れば一番好く解ることで自働電流計は電話使用掛によつて電流消費の狀態は自動的に記錄するので、電話の使用度數が多ければ多い程電流を多く要するので電流計は自然之れに應じた高度を示すやうになつてゐるが、夏中は最も忙しい時でも七十五度が頂上午後からは五十度位に落ちるのが普通の狀態であるに廿九日は

◆度々八十度　を突破したのみならず、午前十時頃から午後一時迄に都合四回許りも百度を示したので流石の電話係りも吃驚してゐる、二十九日が何故こんなに忙しかつたかと云ふとこの日は前にも記した通り日曜の翌日ではあり祭日は前に控へてゐると云ふ關係から輻輳した仕事を一時に處理した故でもあらうが、主なる原因はさう云ふ事よりも丑の日の當日だつたので鰻の註文や催促が頻發したからである、これは例年然うであつて

◆丑日の電話　と云へば殆ど鰻屋さの折詰であるがこの日も亦例に漏れなかつた方である、殊に江戶川や松金なぞは何時でも話し中で電話の明くのは暇はなかつた今年はまだ判らぬが去年の丑の日には江戶川なぞは二百圓からのお話中があつたと云つて今でも局內の一つ話しになつてゐる、この傾城で見ると總督府あたりには大分鰻丼が入り込んだらしいと云ふ中だがお蔭で交換手は大多忙、同局では時節の前例に鑑みこの日は特に技術の優秀な交換手を選拔して掘みたけれどそれでも追つ付かず、何れも玉なす汗を拭ひもあへず車輪になつての奮鬪振りは傍の見る目も哀に痛ましい程であつた

◎暑中休暇の課題に廢物利用研究

京城高女の新らしき試み　京城女學校では廢物利用の觀念を養成しその技巧を進める爲め暑中休暇中の課題として生徒自身に廢物利用の方法を研究させることになつた、これは家庭の廢物即ち布巾類、紙類、綿類、紙板類、壜類、廚房用品類、學用品類、罐類、飲食物等をはじめ其他何んでも構はぬ所謂古物不用品を利用して衣食住に關する日用品を工夫製作するので一二年生は隨意だが三四年生は必ず一品以上成可く多數に製作して九月一日登校の際持參せねばならぬことになつてゐる尤もそれが飲み物、食物等であつて製作品を提出することが出來ぬ場合は其製作實驗の方法及び結果を記述して出せば好いので斯うして集まつた製作品及び記錄は日を選んで之を陳列し展覽會を開く相であるが頗る面白い試みと云ふべしである

◇金太郎の相手
◇◇非常な強力、馬でも牛でも引裂く◇◇
蜜が何より大好物

動物園の人氣者（熊）

◆今日は昔足柄山で金太郎と相撲を取つたと云ふ熊さんを紹介する、熊は體は鈍な形をしてゐるが、鋭い爪を持つてゐるが、爪は地につけて歩くから肢が非常に短く見える、そしてこの五本の趾が前後共五本あるに、これも他の獸と大いに違つた所である

◆體軀は巨きな割合にしなやかで如何にも相撲が取れさうだ、熊を金太郎の相撲の相手に選んだなどは口碑傳說——ではない昔の人も却々馬鹿にならぬ、この體軀のしなやかなと云ふことは熊の特長中の特長である

◆『熊の一擊』と云ふことがあるが力は實に素晴しい、北海道の羆なぞはよく家畜を襲ふことがあるがその際は馬でも牛でも例の一擊で以て擊ち殺しドツコイショとも何とも言はず、苦もなく肩に擔いで逃げる相だ、力の強い話で現に昌慶苑でも斯んなことがあつた。

◆ズット前の話し、昌慶苑では熊と猪を隣合せの檻に入れてゐたことがある、所が或る日のこと、如うした拍子か突然猪が隣の熊の檻に飛込んだものだからさア大變!!!暫くは双方嚙み合ふ引搔くの大騷ぎを演じたが間もなく熊は片脚で猪を押へ付けて仕舞つた、其時は流石の猪も身動きもし得なかつたので係りの人々も今更の如く熊の強力に驚いたと云ふ、今でもこれは動物園の一つ話しになつてゐる

◆熊が仔を愛することは非常なもので、これについての話しも隨分少くないが餘白がないからこれは略して極く簡單にその種類と分布狀態を示すと（イ）北極熊、名の通り北極に居る奴で白熊とも云ふ、（ロ）羆熊、赤熊とも云ひ……を通じて棲息してゐる、毛色は概して褐色、熊類中最も大きくなるので攻……鮮滿にはこれが非常に多い（ハ）灰色熊　黃褐色の灰々とした毛を持つてゐて前肢が後肢よりも大きい、性質は頗る猛惡で屢々人畜を損ふ、亞米利加及び中央亞細亞にも一種の灰色熊がゐるとのこと（二）黑熊、毛は短くて眞黑い月の輪と云つて胸に三日月形の白い毛があるから直ぐ他の熊と見分がつく、朝鮮にゐるのはこの月の輪が大きく性質も比較的溫和である

◆今動物園にゐるのは羆熊と黑熊この二種の灰色熊である、雜食性の動物であるから何でも嫌はず食ふが、昌慶苑では熊一頭に對し半搗米八合、馬鈴薯三百目、豆腐滓五百目、乾明太魚一尾を一日分として當て飼つてゐる、割合に小食の方だが蜜は一番の好物だと云ふ

◆忘れてゐたが支那料理中の珍味『熊掌』は熊の掌肉、膽は藥として價値があることは御存知の如し

◎木浦豪雨襲來

木浦にては二十九日朝より同正午迄豪雨襲來し雨量百二十五耗に達せり（木浦特電）

◎長門丸陸地に乘り上ぐ

所安島に避難船多し　發動汽船長門丸は二十六日午前十一時暴風雨に遭ひ所安島に避難中浸水沈沒せんとせしも陸地に乘り上げ小破損にて幸ひに無事なるを得たり所安島附近は船舶の避難地に適する爲今回の暴風雨に際しても全北外數隻の避難船ありたる由なり（木浦特電）

◎線丸乘組員卅名陸路歸航

大阪松井萬六所有線丸（八百一噸）大連より石炭千四十四噸を積み込み富山縣七尾に向け航行中二十八日午後八時所安島（全南の南端）の西南の岬角より約八浬の東方三浬の處に沈沒せり乘組員三十名は端艇にて莞島に避難し順天丸に便乘二十九日朝木浦へ來著同正午木浦發列車にて歸國の途に就けり（木浦特電）

◎連絡船の延著

二十九日朝定時入港すべき昌慶丸は濃霧の爲め針路不明となり午前十時半辛うじて著釜せり右により同十時半發列車は十一時釜山發北行せり（釜山特電）

◎京城神社の明治天皇祭執行

三十日午前十時より　七月三十日は明治天皇祭に相當せるを以て京城神社に於ては同日午前十時先づ神殿祭を行ひ次に桃山陵遙拜式を執行すべく式次は定刻齋主以下伶人氏子大總代同總代等參集祓所に於て淸祓を受け拜殿に參進奏樂裡に神饌を傳供了れば齋主徐ろに神前に進みて祝詞を奏し更に齋主氏子總代の玉串奉奠あり嚴なる神殿祭を奉仕し更に境內所定の遙拜所に於て一同參列し東方遙に玉串を捧げて式を終るべく一般氏子崇敬者も振つて參拜せらるべしと

◎講道館土用稽古

京城府內講道館朝鮮支部にては去る二十七日より柔道の土用稽古を實施したるが目下六十餘名の出席者あり右に就き當地諸學校生徒は勿論暑中休暇にて內地より歸省中の學生等を大に歡迎し特に便宜を圖る由に付き出席希望者は午後五時より七時迄の間に同支部に申込む可しと

◎曲馬師電車に振り飛ばさる
◆飛降り損ねて負傷◆

京城明治町にて興行中なる曲馬師隊部幸慶（二七）は二十八日午後十一時頃黃金町通より光熙門行き九十號電車が黃金町四丁目を進行中飛び降りをなし後頭部に負傷を負へり

◎沙里院の有力者　（黃海）

沙里院にては先頃土地の有力者にて賭博罪の爲め沙里院署に檢擧せられし者十數名ありしが事件は所轄檢事局に送致されたる結果此程左記八名有罪として起訴されたり
▲木村政吉▲田內宗吉▲江副貫松▲東乙彥▲今宮耕之助▲辻利一郎▲吉永嘉兵衛▲御手洗瀧次郎

◎急行列車延著

廿九日午後釜山著の急行列車は京釜線水害の爲め定時より一時間半延著の爲め同夜發連絡船は右列車著を待て出港す（釜山特電）

◎窃んで遊興

滋賀縣愛知郡角井村前科二犯の眞野與吉（二八）は仁川本町の菓子屋に奉公中七月九日京城に來り旭町二丁目細川方家人の不在中忍び込みて現金及び衣類（三十二圓）のものを窃取し尙は靑草町小島ゆう方にても衣類十五圓ばかりを窃取し贓物は賣却し同町松浦某方よりも衣類を橫領したるに拘らず便賣し居れる所を本町署に逮捕され取調べの上檢事局送り

◎轉轍手の重傷

大邱驛雇轉轍夫金漢洪（二三）は二十七日午後一時十五分頃同驛構內にて從業中折柄進行し來れる列車の機關車に觸れ頭部に重傷を負へり

◎地ずしの新築

本町三丁目組すしは從來の家屋の下手に新築中の處此程落成せるを以て廿八日町內有志其他六十餘名を招待して落成移轉宴を張れるがこれより益々勉强を以て顧客に酬ゆる由

◎明治天皇忌と護國寺

旭町三丁目日蓮宗護國寺にては三十日午前十時より明治天皇御七年忌靈殿に就き一般の參拜を希望すと

◎改定煙草値上發表
朝日八錢となる

朝鮮に於ける八月一日より賣消費稅の增徵に伴なふ各賣業の製造賣小賣定價は值上げ價格は廿九日左記の如く決定發表したるが右の內主なるものゝ價格は雞林の十二錢、敷島の十錢、大和の九錢、朝日の八錢、しらぎの六錢等なりその他の各賣は左の如し

▲改正値段表

▲東亞煙草の部
▽口付ノ部

品名	入數	價格
鷄林	二十本入	十二錢
敷島	同	十錢
大和	二十本入	九錢
武藏野	同	九錢
朝日	同	八錢
しらぎ	同	六錢
二鷹	十七本入	四錢
菊水	二十本入	四錢
常盤	同	四錢
月世界	同	六錢
同	五十本入	十二錢
花王	卅三本入	七錢
牡丹臺	二十本入	四錢
クラウン	五十本入	十錢
エムデン	四十本入	六錢
◁兩切ノ部		
金瓢	十本入	十二錢
スピーヤー	同	九錢
ウエルス	同	四錢
千圓	二十本入	六錢
百圓	同	五錢
同丸形	十五本入	四錢
一圓	二十本入	四錢
ワンダー	十三本入	五錢
ピユーテー	十本入	四錢
カブト	同	四錢
ヘルメット	二十本入	四錢
ダリヤ	十三本入	三錢
丸形ヘルメット	二十本入	四錢
▽刻ノ部		
水府	四十匁入	一圓廿錢
薩摩	同	一圓廿錢
福壽草	同	一圓
同	二十匁入	五十錢
白梅	四十匁入	七十五錢
同	二十匁入	三十八錢
サツキ	四十匁入	五十五錢
同	五匁入	七錢
アヤメ	四十匁入	四十四錢
同	五匁入	六錢
ハギ	四十匁入	三十二錢
青柳	同	二十五錢
瓢	同	二十五錢
▲朝鮮煙草ノ部		
花扇	二十本入	十錢
はつひ	同	七錢
明石	廿八本入	七錢
須磨	同	七錢
壽蒲	卅二本入	八錢
壽蒲	四十本入	八錢
ゼントルマン	十九本入	五錢
ゼントルマン	十五本入	四錢
萬福	同	四錢
ソルジャー	二十本入	五錢
ヴアイオレツト	同	四錢
ゴールデンコスモス	同	四錢
ホワイトコスモス	二十本入	四錢
丸形コールデンコスモス	同	四錢
パラダイズ	十三本入	三錢
▲東西煙草ノ部		
黃菊	十七本入	四錢
パコーダ	十本入	七錢
一號ユニコール	十二本入	五錢
二號	同	四錢
白牛	二十本入	五錢
不老草	二十本入	五錢
ロンドン	二十本入	四錢
ピース	二十本入	四錢
▲同志商會ノ部		
一號日月	十七本入	四錢
二號日月	二十本入	五錢
一號飛行機	六本入	一錢五厘
二號飛行機	十二本入	三錢
▲東光社ノ部		
手票	十五本入	四錢
金票	二十本入	五錢
電氣燈	十六本入	四錢
ラムプ	二十本入	四錢
スワン	十本入	二錢
コンケスト	十本入	二錢
▲廣成商會ノ部		
羊票	二十本入	五錢
二號ビリヤード	十二本入	四錢
電話票	二十本入	四錢
電車	十五本入	四錢
ホテル	二十本入	四錢
マシンガン	十本入	四錢
▲富士商會ノ部		
香王	廿六本入	六錢
同	五十本入	十二錢

……一時頃室外の工室に就寢中……龍（…）が豹に攫はれ翌朝二百間の……が自宅附近にて遊歩中豹に頭部を咬まれて……て約一丁を離れたる山中より發見せり

◆廣告◆

商業登記公告
朝鮮銀行ハ大正七年七月貳拾日各新株ニ付金貳拾五圓宛拂込ヲ結了シ各新株ノ拂込額ヲ金百圓ト變更シタリ……
京城地方法院

自動車
本校卒業生は校外生と雖も短期に……運轉手技師……自動車學校

豫告的中!!

公債株式現物賣買　新田耕市商店　電話長五七〇・一八八一番

好評經濟的事務用金ペン付　パインビジネスペン　定價壹圓九拾五錢　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

新式耐水調帶　朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行　京城西大門外　白神洋行支店　新田帶革

釜山名商店案內
酒精　焼酎　西貢米　碎米　砂糖　麥粉　釜山埋立新町　電話長一〇八番

雜貨問屋

洋酒　罐詰　糖粉　釜山　あづま商店　電話二五九番　振替京城三九〇番

スマート

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋　釜山　西山商店

牛乳　東亞牧場　京城蓬萊町四丁目　電話一三一番

ニッソ洗粉　太正堂肥皂

京城龍山等各地に僞物有御注意
りん病ばい毒
にせドラッグあり御注意　好商なり
京城南大門外　ドラッグ商會

妻の心　五十二

九の二　小林蹴月作　武内桂舟畫

『伯母さん、麗子さんに對しては、少し殘酷なやうですけれど、お醫士に話を僞て、當分鎌倉か小田原の海岸へでも、麗子さんを轉地さして了ふんですね。』

『そりや、譯もないこツてすが、轉地さした跡を什うしやうと云ふお考へだの？』

『跡は申すまでもなく、伯母さんのお見込み通りに一切を處理なさるんです。及ばずながら、私も亦斡旋の往復には、毎度お立ち寄りして、御相談相手にならうでは御座いませんか。』

『成程の、それは好いかも知れませんの。病氣とは云ふものゝ、彼女が眼前に居つては、萬事を取極めるのに、誠に都合がわるい事だらけなんですからね……ではね、順さん、丁度幸ひですから、貴方から、一ツお醫士の勸告だと云つて、麗子に轉地の事を說き付けて見て下さい。妾が云ふと、何だかもう、些細な事にまで氣を廻はして、久さんとの夫婦仲を引裂く爲めの手段としか思はないやうですから……。』

『好う御座います。私としてもその實今日ではもう麗子さんから、餘り敵意を以て迎へられては居らんのですけれども、町川家の盛衰問題には代へられませんからな。』

『御願ね、順さん、天氣でも回復したらば、直に轉地の仕度を爲るやうに勸めて見て下さいまし。』

喜久子と櫻井との下相談は、略ぼ決定したのである。櫻井は、後とも云はずその足で直ぐさま隱居所の方から廊傳ひに麗子の病室へ赴つた。

麗子は、昨夜一夜まんじりともせずに、例の幻覺的迷想に襲はれて、身體も神經も疲れぬいて居た處で、只うとうとと夢心地の折柄であつたが、ぬつて入つて來た順吉郎の洋服姿を見るより、條ち又昨夜の幻覺の顏を思ひ出したのである。幸ひに昏黒の事で、蚊帳も吊つてないしするから、眞逆にそれが現實でないとは思はないのであるが、何れにしても、麗子に取つては、不愉快でそして薄氣味わるく感ぜられたのである。

『麗子さん、如何です。つい、屢く御病室をお騒がせしても、好くないと思つて、遠慮しとつた譯ですが……は、は、は。』

『櫻井さんで御座いますか、相變らず取亂しとりまして失禮で御座います。』

『いや、什うしまして、あッ、お起きになるには及ばんです。その儘その儘。』と、順吉郎は、何處までも順吉郎式の如才ない所を發揮しながら、

『麗子さん、實は今日偶然の事から、關山博士にお目に罹りましてね、貴女の御病氣の話が出たんですが、博士の云はれるには、貴女の病氣の根源と云ふのは、身體の衰弱とか變調とか云ふ點よりも、物事の心配が直接の因を爲しとるんだから、一切の俗事を忘れ、家庭の苦痛を一掃して、二箇月ばかりの内海岸へ轉地なさるに限ると云ふ御注意があつたんです。什うでせう麗子さん、二箇月と云つても、少し長過ぎるやうですが、二三週間の豫定で、小田原か鎌倉へでも行つて御覽になつたら……。』

『御親切に有がたう御座います。勿論、關山先生からは、先日も一寸轉地云々のお話がなかつたでも御座いませんが……櫻井さん、海岸へ行つて、濤の音や松風を耳に聞いたからとて、それで一切の俗事や、家庭の苦痛が一掃出來るもんで御座いませうかね。』

『は、は、は、麗子さん、そりや貴女、理屈と云ふもんですよ。人間生きて居る限りは、すべての苦勞を絶對に忘れると云ふ事は能きやしませんけれども、まあまあ幾分でも眼前の景色に心を癒やしたり、清淨な空氣を呼吸しとる内には、病氣の方が自然退却しやうと云ふもんでさアね。』

『そりやまあ然うかも知れませんね。けれどもあの櫻井さん、何れほど美しい景色でも、甚麽清淨な空氣でも、心の平穩を缺いで居る人間には、何の効驗もあるもんぢや御座いますまい。妾、折角のお勸めですけれども、只今の境遇では、轉地なんて『思ひも寄らない』こツて御座いますの。打付けな事を申すやうですがね、寧ろ此の儘良人の手に殺された方が優しだと考へとるんで御座いますわ。』

麗子は、實際腹で思ふばかりでなく、順吉郎に對して、自分が良人を思ふ眞意の根強さを示す爲めに、故意と打付に斯う云つたのである。

◆理想的の土用干は斯う（下）

それから入れ物の簞笥や行李なども同時によく干すことは勿論ですが行李の他簞笥抔はやはり直接日光にあてぬ方が

★保存上良いのです

さて干し終つた時は先づ著物の汚れなどに注意して汚れた處は直に手當てをして納めます、又紋のある處は白紙を當て更に疊み目に折り目のつかぬ爲め綿を入れて置けば申分ありません又子供の著物は毎年身丈けが伸びますから、上げは仕舞ふ時に必ずとつて置くやうにしますと地質をいためません、それから著物は必ず

★虫除けが必要です

普通は樟腦とか香晶或は香水などを用ひますが、虫除けとして殊に大切なのは毛織物です、メリンス類とか洋服等は最も虫のつき易いものですから干す場合もよく干す必要があります、是にはナフタリンとかホルマリン等を入れるのが防虫劑として有効です、それ故仕舞ふ時は毛織物は一つに纏めると便利です

★然し此防虫劑は

一般の物にも有効ですが唯其匂ひが餘りよくありません、それから仕舞ふ場合には不用に入れぬと黴がつきます、それには一つ處に同じ種類の物假へば羽織ばかりを一つ引出に入れるよりは帶物とか帶などの長短のあるものを入れた方がよいやうです、又紫色のあるものは時に色を變ずる事もありますから包み紙に入れて重ねれば

★安全で保存にも

よいやうです、入れ物は桐が最も保存上よいのです、又置き場處は何よりも濕氣を退け簞笥なれば壁の間を二三寸明けて置く方が濕氣をうけぬ事になります、又行李の類は若し床に置くなれば必ず杭木の上に置くことを忘れてはなりません、行李を重ねるのはよくありません、又之は出入に面倒なものですから表に

★品目を書いて置く

と便利です次に取扱ひ上最も注意を要するは客夜具です、長持或は押し入れとか土藏に入れて置くものですがよく鼠がつき易いやうですから仕舞ふには先づ鼠を防ぐ場處を選ばぬと客夜具類の使用は稀な爲、よく此鼠の爲めに害を受けます（完）

新義州安東より　不孝郎

○裸でならびてもてなさるゝことのおかしく
○いさゝかの畑主にて裸貰れるもの
○役に挾まれ役を出づる裸の力
○支那街の貴な上の道ゆられ眠り足らぬ
○日本公園を見ず落着く裸のわれら

□草月鈔

▽水鶏啼く曉風に出て忌札貼る　宵
飲火に風通ひ來草なはなる月　瓦
▽樹々踏みて石遊びす兒夏の月　雪
石投げて池鳥立ちぬ夏の月
▽姉妹の裏を吹き切りし風や秋涼し　蕉
新宗の非洞川しぬ五月晴　尼
▽萩畑の月に出て鳴れる白波見ゆ　瓜
魚荷の灯篭見せつ夢ゆ夏不坂
庭非趨に水飲む犬や雷鳴　青

讀者の領分

▲就職希望者の希望……人に聽ぜんとせし人……に許さず……求むる旨申越し來れり（後）▲近頃好惡な白米小賣商は一升に付き……米の代を取つて二等米を持つて來たり粉を讒醸化したりする事が往々耳にします御注意肝要（長屋總代）▲歩る處で素人寄席會があつた廣告には單に『入場無料下足料五錢』と廣告して置きながら下足料を拂つて中に行つて暫くすると年増の色の黒い女が招待券の無い方は入場料五錢を頂戴して取ると云ふので入場料五錢を……つた立派な詐欺的行爲ではあるまいか（被害者）▲新龍山行の電車は練兵場から先きは最大速力を出すので乘客は身體の激動甚しき爲め持悪しきこと夥しい其の爲に一箇月前にも新龍山で危く脱線しかけたことが二度ある會社の者は時々變裝して乘車し運轉手の操縦振りを監督し給へ中には稀に良いのもあるが多くはさうである（乘客）▲私は米豆相場の研究を希望するものでありますが日々新聞紙等に掲載される相場記事中左記字句の意味不明に付御教示を乞ふ、利喰、ドタ、上放、寄付、押目、下押、先限、中限、當限、思惑、寄付、小口落、保合、踏調、逆鞘、商内、停止、直鞘、買添切、買玉（相場研究生）▲私は本年十六歳八箇年の少女で御座居ますが昨年より白髪出來只今では半白となりましたこれがためまことに心配致して居りますが何か全治方法はないでせうか御教へ下されたく御願ひ致します（一少女）

◎布哇共進會　邦人出品奨勵

◎渤海灣漁業會社　日支合辦說

◎帆船粉碎

◎火葬場の火災

Overland

TRADE MARK REG.

價格四千圓

野外！郊外！

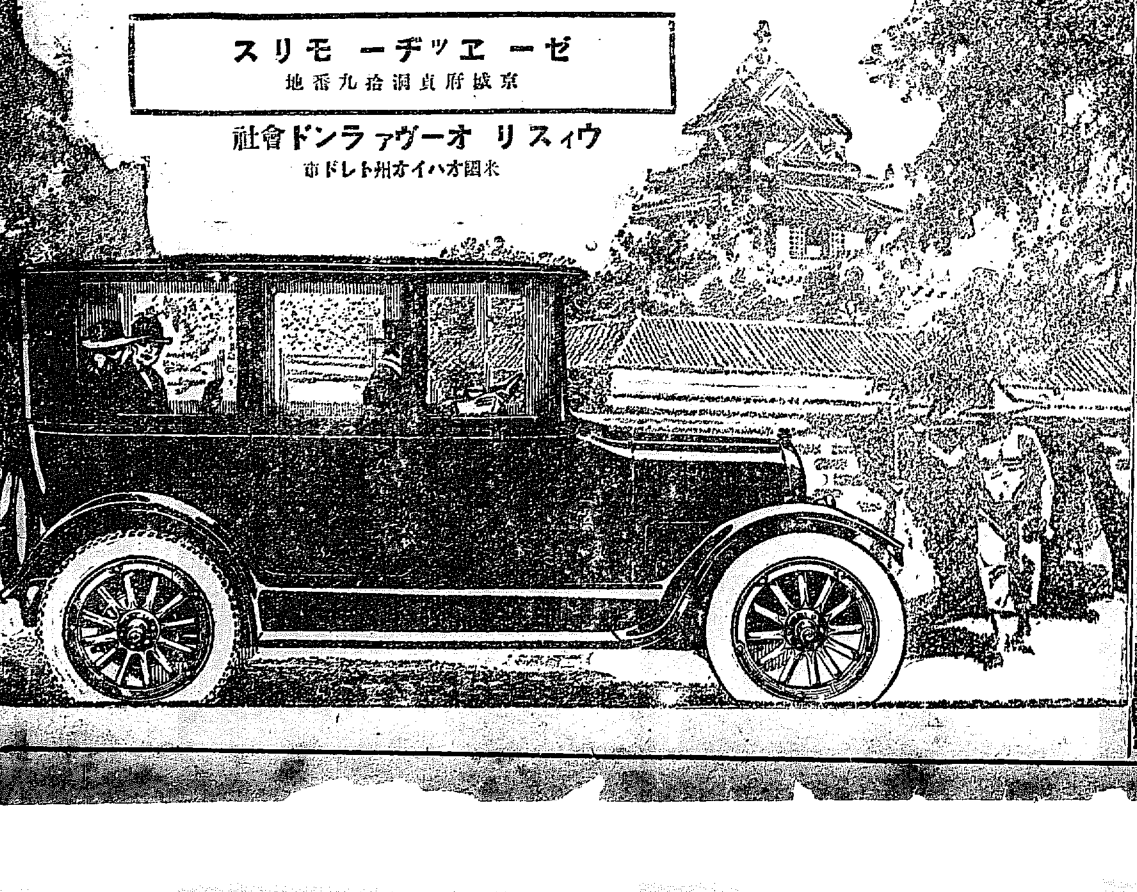
大なる野外郊外に自動車を驅せよ　健康ならんと欲するもの幸福ならんと欲するものは　**オーヴァーランド**自動車に乘れ　諸君は理想的の自動車を**オーヴァーランド**製品中に發見さるべし諸君の以て慊るに足るとなすべき自動車は諸君の財力にて容易に購ひ得らるる也

オーヴァーランド自動車は多數に製造さるゝを以て極めて經濟的に出來上り居れり　諸君は他に斯の如き有利なる購買をなし得ざる也

オーヴァーランド自動車の有利なるは　一見して明なり　例は九○型旅行用自動車を見よ（下圖參照）年中使用して斯の如く有効なるはなし　風雨の際一瞬時にして箱自動車となし　又忽ちにして全部開放し得らる　四吋大の**タイヤ**　含蓄力の大なる**エンヂン**　美なる外觀　簡易なる運轉方法　愉快なる乘心地　耐久力ある構造　是れ其特長也　設備完全只乘る許り也

ゼー　エッヂー　モリス
京城府貞洞拾九番地

ウィリス　オーヴァランド會社
米國オハイオ州トレド市



金剛山寫眞帖

定價　金貳圓五拾錢　送料　鮮内　十二錢　鮮外　三十二錢

金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べく時將に漸く盛夏に入らんとするとき之を繙かば涼風腋下に湧くの概あるべく更に又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり

發賣所　京城太平通　振替京城三〇〇　京城日報社代理部

看護婦募集廣告

志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし

大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

にきびとり　美顔水

心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生藥

(一)ニキビ、吹出物＝婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

(二)蚤、蚊、南京虫＝其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺らず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

(三)皮膚を美しくす＝斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を增す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります

（定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢）

發賣元（東京・大阪）　桃谷順天館